SONY

Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-W350/W350D/W380

4-188-441-**02**(1)

JP

ハンドブックの便利な使いかた

右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。

- 機能別に探せます
- 目的別に探せます
- MENU/設定一覧から探せます
- キーワードから探せます

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [赤目軽減] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✔ オート	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
入	常に赤目軽減発光する。
切	赤目軽減発光しない。

ご注意

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

その他の軽減方法

- シーンセレクションで(高感度)を選び、撮影する(フラッシュは[発光禁止]になります)。
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

目次 / やりたいことから探す / MENU/設定一覧から探す / 索引

ハンドブックでは、操作の手順を→で表現しています。この順に従って操作してください。マークはお買い上げ時の状態のもので載せています。

お買い上げ時の設定は✔で表しています。

カメラを正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。

知っておくと便利な情報を記載しています。

操作前のご注意

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機で使用できるメモリーカード（別売）についてのご注意

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティックPRO デュオ"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。
マルチメディアカードは使用できません。
本書では、"メモリースティックPRO デュオ"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"を「"メモリースティック デュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。

- 本機で動作確認されている"メモリースティック デュオ"は32GB、SDカードは64GBまでです。

動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。

– MEMORY STICK PRO DUO（Mark2）（"メモリースティックPRO デュオ"（Mark2））
– MEMORY STICK PRO-HG DUO（"メモリースティックPRO-HG デュオ"）
– SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（Class 4 以上）

- "メモリースティック デュオ"について詳しくは、134ページをご覧ください。

"メモリースティック デュオ"をスタンダードサイズの"メモリースティック"スロットで使用する場合

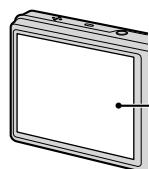
"メモリースティック デュオ"アダプター（別売）に入れると使用可能です。

"メモリースティック デュオ"アダプター

バッテリーについてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長期間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、136ページをご覧ください。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒、白、赤、青、緑の点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機の可動式レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく ↓

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

イラストについて

本書のイラストや画面上の表示は特に説明が必要なところを除きDSC-W380を使用しています。

カスタマー登録について

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後はカスタマー登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話：0466-38-1410
受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00
　　　　　土日祝　9:00 ～ 17:00

カスタマー登録およびそれに関する電話によるお問い合わせの対応は、国内のみです。

目次

ご使用の前に

ハンドブックの便利な使いかた …… 2
操作前のご注意 …… 3
カスタマー登録について …… 5
やりたいことから探す …… 8
MENU/設定一覧から探す …… 10
各部の名前 …… 16
画面に表示されるアイコン一覧 …… 18
モードダイヤルの使いかた(DSC-W380のみ) …… 20
モードスイッチの使いかた(DSC-W350/W350Dのみ) …… 21
内蔵メモリーについて …… 22

撮る

おまかせオート撮影 …… 23
かんたん撮影(DSC-W380のみ) …… 25
かんたんモード(DSC-W350/W350Dのみ) …… 27
プログラムオート撮影 …… 28
スイングパノラマ …… 29
シーンセレクション …… 31
動画撮影 …… 34
ズーム …… 35
DISP(画面表示設定) …… 36
フラッシュ …… 37
スマイルシャッター …… 38
セルフタイマー …… 39

見る

静止画再生 …… 41
再生ズーム …… 42
一覧表示 …… 43
削除 …… 44
動画再生 …… 45

MENU(撮影)を使う

MENU一覧(撮影) …… 10

MENU(再生)を使う

MENU一覧(再生) 12

設定を変更する

設定一覧 14

テレビで見る

テレビで見る 106

パソコンを使う

パソコンで使う 109
ソフトウェアを使う 110
本機とパソコンを接続する 112
画像をネットワークサービスにアップロードする 114

プリントする

静止画をプリントする 116

困ったときは

故障かな?と思ったら 119
自己診断表示と警告表示 129

その他

"メモリースティック デュオ"について 134
バッテリーについて 136
バッテリーチャージャーについて 137

索引

索引 138

やりたいことから探す

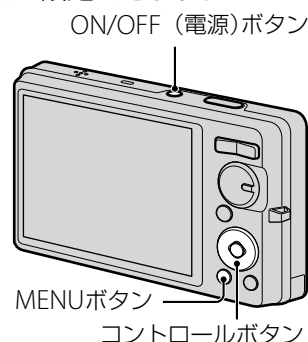
やりたいこと	機能	ページ
カメラにまかせてきれいに撮りたい	おまかせオート撮影	23
	シーンセレクション	31
	おまかせシーン認識	62
人物をきれいに撮りたい	ソフトスナップ	31
	夜景＆人物	31
	スマイルシャッター	38
	おまかせシーン認識	62
	顔検出	65
	目つぶり軽減	68
	赤目軽減	85
パノラマ撮影したい	スイングパノラマ	29
ペットをかわいく撮りたい	ペット	31
動いている被写体を撮りたい	動画撮影	34
	連写設定	53
ブレなくきれいに撮りたい	高感度	31
	2秒セルフタイマー	39
	ISO	55
逆光でもきれいに撮りたい	強制発光	37
	おまかせシーン認識	62
	DRO	67
薄暗い場所で撮りたい	高感度	31
	スローシンクロ	37
	ISO	55
被写体が暗く写るのを補正したい	明るさ（EV補正）	54
ピントを合わせる位置を変えたい	フォーカス	59
	顔検出	65

画像サイズを変更したい	画像サイズ	49
画像を削除したい	削除	44、75
	フォーマット	98
撮った画像を大きく表示したい	再生ズーム	42
	トリミング(リサイズ)	74
撮った画像を加工したい	加工	74
撮った画像を順番に連続再生したい	スライドショー	70
見やすい表示でかんたんに撮影、再生したい	かんたん撮影(DSC-W380のみ)	25
	かんたんモード(DSC-W350/W350Dのみ)	27, 69
撮影日時を入れたい	「PMB(Picture Motion Browser)」を使う	110
時計設定を変えたい	エリア設定	104
	日時設定	105
最初の設定に戻したい	設定リセット	90
印刷したい	静止画をプリントする	116
テレビで見たい	テレビで見る	106

MENU/設定一覧から探す

MENU一覧（撮影）

撮影中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 電源を入れて撮影モードにする
2 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する
3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ
4 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す

下の表では、○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。「SCN」下のアイコンは、設定変更可能なモードを表しています。撮影モードによっては設定が固定または制限される場合があります。詳細は、各項目のページにてご確認ください。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

DSC-W380

モードダイヤル / メニュー項目	iO	EASY	P	▭	SCN	動画
シーンセレクション	－	－	－	－	○	－
動画撮影シーン	－	－	－	－	－	○
撮影方向	－	－	－	○	－	－
画像サイズ	○	○	○	○	○	○
フラッシュ	－	○	－	－	－	－
連写設定	○	－	○	－		－
明るさ（EV補正）	○	－	○	○	○	○
ISO	－	－	○	－		－
色合い（ホワイトバランス）	－	－	○	○	ISO	
水中ホワイトバランス	－	－	－	－		
フォーカス	－	－	○	○	－	－
測光モード	－	－	○	○	－	○
おまかせシーン認識	○	－	－	－	－	－
スマイル検出感度	○	－	○	－	ISO	－
顔検出	○	－	○	－	ISO	－
DRO	－	－	○	－	－	－
目つぶり軽減	－	－	－	－		－
（設定）	○	－	○	○	○	○

ご注意

• 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

DSC-W350/W350D

モードスイッチ / 撮影モード / メニュー項目						
		P	SCN			
撮影モード	○	○	○	–	–	–
シーンセレクション	–	–	○	–	–	–
EASY(かんたんモード)	○	○	○	–	–	–
動画撮影シーン*	–	–	–	–	○	○
撮影方向	–	–	–	○	–	–
画像サイズ	○	○	○	○	○	○
連写設定	○	○		–	–	–
明るさ(EV補正)	○	○	○	○	○	○
ISO	–	○		–	–	–
色合い(ホワイトバランス)	–	○		○	○	–
水中ホワイトバランス*	–	–		–	–	○
フォーカス	–	○	–	○	–	–
測光モード	–	○	–	○	○	○
おまかせシーン認識	○	–	–	–	–	–
スマイル検出感度	○	○		–	–	–
顔検出	○	○		–	–	–
DRO	–	○	–	–	–	–
目つぶり軽減	–	–		–	–	–
(設定)	○	○	○	○	○	○

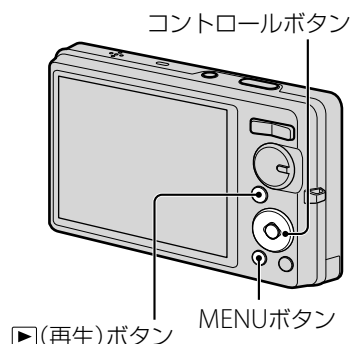
* DSC-W350のみ

ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。

MENU一覧(再生)

再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する
3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ
4 中央の●を押して実行する

下の表では、Oは設定変更可能、−は設定変更不可能を表しています。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

DSC-W380

ビューモード / メニュー項目	メモリーカード			内蔵メモリー
	日付ビュー	フォルダビュー(静止画)	フォルダビュー(動画)	フォルダビュー
(スライドショー)	○	○	○	○
(ビューモード)	○	○	○	−
(加工)	○	○	−	○
(削除)	○	○	○	○
(プロテクト)	○	○	○	○
DPOF	○	○	−	−
(印刷)	○	○	−	○
(回転)	○	○	−	○
(再生フォルダ選択)	−	○	○	−
(設定)	○	○	○	○

ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
- モードダイヤルがEASY(かんたん撮影)のときはMENUボタンを押すと削除画面になり、[1枚削除]と[全て削除]が選べます。

次のページにつづく↓

DSC-W350/W350D

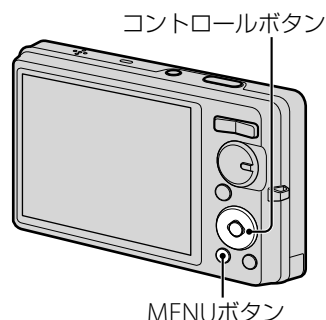
ビューモード / メニュー項目	メモリーカード			内蔵メモリー
	日付ビュー	フォルダビュー（静止画）	フォルダビュー（動画）	フォルダビュー
EASY（かんたんモード）	○	○	○	○
（スライドショー）	○	○	○	○
（ビューモード）	○	○	○	–
（加工）	○	○	–	○
（削除）	○	○	○	○
（プロテクト）	○	○	○	○
DPOF	○	○	–	–
（印刷）	○	○	–	○
（回転）	○	○	–	○
（再生フォルダ選択）	–	○	○	–
（設定）	○	○	○	○

ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。

設定一覧

(設定)画面を表示して、本機の設定を変更します。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する
2 コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●で設定画面を表示する
3 ▲/▼でカテゴリーを選び、▶で移動して項目を選び、中央の●を押す
4 好みのモードを選び、中央の●で決定

下の表の「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

カテゴリー	項目
撮影設定	AFイルミネーター
	グリッドライン
	表示画質モード
	デジタルズーム
	縦横判別
	赤目軽減
	目つぶり通知
本体設定	操作音
	表示言語*
	機能ガイド
	デモモード
	設定リセット
	コンポーネント出力
	ビデオ信号出力
	USB接続
	LUN設定
	BGMダウンロード
	BGMフォーマット
	パワーセーブ
メモリーカードツール	フォーマット
	記録フォルダ作成
	記録フォルダ変更
	記録フォルダ削除
	コピー
	ファイル番号
内蔵メモリーツール	フォーマット
	ファイル番号

次のページにつづく↓

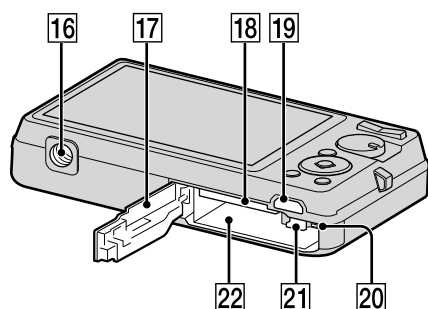
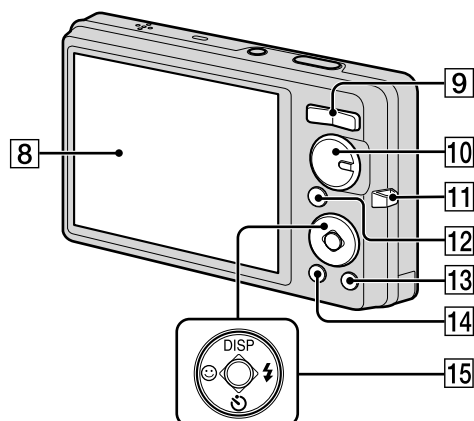
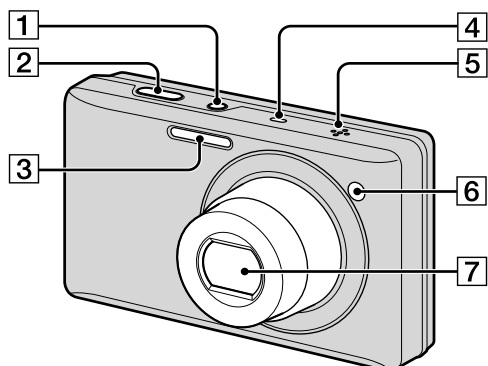
カテゴリー	項目
◔ **時計設定**	エリア設定
	日時設定

* 本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

ご注意

- [撮影設定]は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。
- [メモリーカードツール]はメモリーカード挿入時のみ表示され、[内蔵メモリーツール]はメモリーカード非挿入時のみ表示されます。

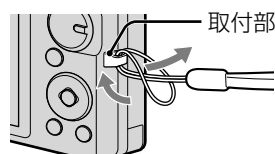
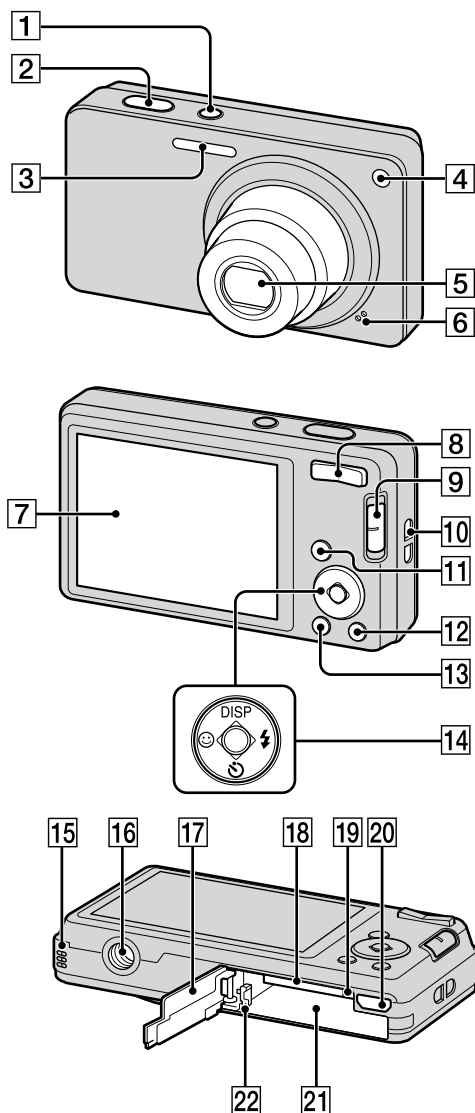
各部の名前

DSC-W380

1 ON/OFF（電源）ボタン
2 シャッターボタン
3 フラッシュ
4 マイク
5 スピーカー
6 セルフタイマーランプ/ スマイルシャッターランプ/ AFイルミネーター
7 レンズ
8 液晶画面
9 撮影時：W/T（ズーム）ボタン（35） 再生時：🔍（再生ズーム）ボタン（42）/ ▦（インデックス）ボタン（43）
10 モードダイヤル（20）
11 リストストラップ取り付け部*
12 ▶（再生）ボタン（41）
13 🗑（削除）ボタン（44）
14 MENUボタン（10）
15 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/⏲/☺/⚡
16 三脚用ネジ穴
17 バッテリー/メモリーカードカバー
18 メモリーカード挿入口
19 マルチ端子
20 アクセスランプ
21 取りはずしつまみ
22 バッテリー挿入口

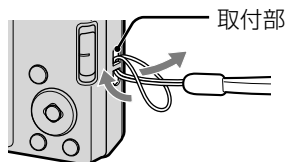
* リストストラップを使う

- 本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。落下防止のため、手を通してご使用ください。

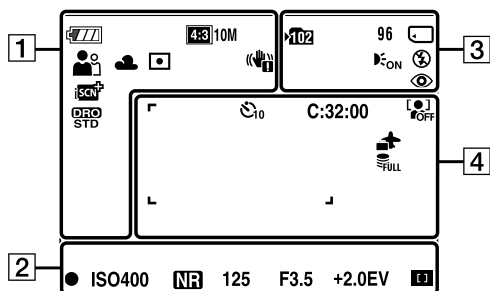
目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

DSC-W350/W350D

1 ON/OFF（電源）ボタン
2 シャッターボタン
3 フラッシュ
4 セルフタイマーランプ/
スマイルシャッターランプ/
AFイルミネーター
5 レンズ
6 マイク
7 液晶画面
8 撮影時：W/T（ズーム）ボタン（35）
再生時：（再生ズーム）ボタン（42）/
（インデックス）ボタン（43）
9 モードスイッチ（21）
10 リストストラップ取り付け部*
11 （再生）ボタン（41）
12 （削除）ボタン（44）
13 MENUボタン（10）
14 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/ / /
15 スピーカー
16 三脚用ネジ穴
17 バッテリー /メモリーカードカバー
18 メモリーカード挿入口
19 アクセスランプ
20 マルチ端子
21 バッテリー挿入口
22 取りはずしつまみ

* リストストラップを使う

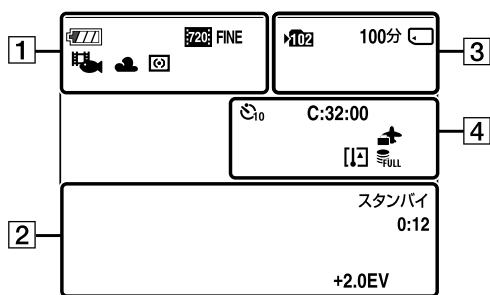
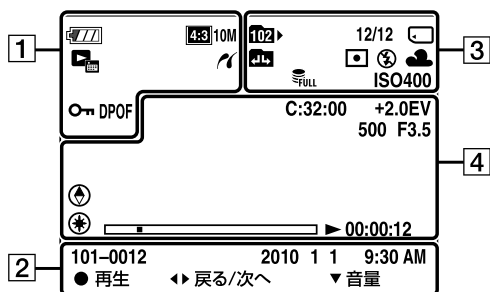
- 本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。落下防止のため、手を通してご使用ください。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールボタンのDISP（画面表示設定）で、液晶画面の表示が切り替わります。

静止画撮影時

- かんたん撮影のときは、表示されるアイコンは制限されます。

動画撮影時

再生時

1

	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
4:3 14M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 11M 16:9 2M 720 FINE 720 STD VGA STD WIDE	画像サイズ
ISO	シーンセレクション • は、DSC-W380のみ、は、DSC-W350/W380のみ表示されます。
i P	撮影モード（おまかせオート撮影/プログラムオート撮影/スイングパノラマ）
	動画撮影シーン • は、DSC-W350/W380のみ表示されます。
	シーン認識マーク
WB WB 1 WB 2	色合い（ホワイトバランス） • 1 / 2は、DSC-W350/W380のみ表示されます。
	測光モード
	手ブレ警告
iSCN	おまかせシーン認識
	連写設定
DRO STD DRO Plus	DRO
	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.4 S P	ズーム
	PictBridge接続
	プロテクト
DPOF	プリント予約
×2.0	ズーム
	ビューモード

次のページにつづく↓

2

●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	明るさ(露出補正)
	AF測距枠表示
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間(分:秒)
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
● 停止 ● 再生	再生時の操作ガイド
◀▶ 戻る/ 次へ	前後の画像を表示
▼ 音量	音量調節

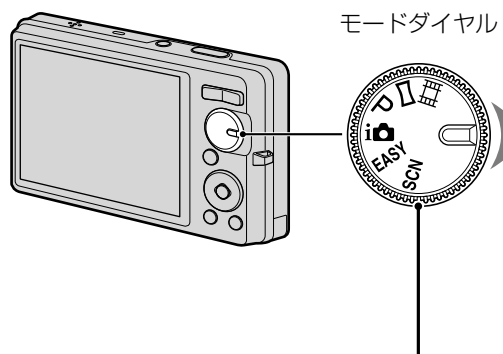
3

102	記録フォルダ
102	再生フォルダ
96	記録可能枚数
12/12	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
100分	記録可能時間
	記録/再生メディア(メモリーカード/内蔵メモリー)
	フォルダ移動
ON	AFイルミネーター
	赤目軽減
	測光モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
AWB	色合い(ホワイトバランス) • WB 1/ WB 2は、DSC-W350/W380のみ表示されます。
ISO400	ISO感度
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告

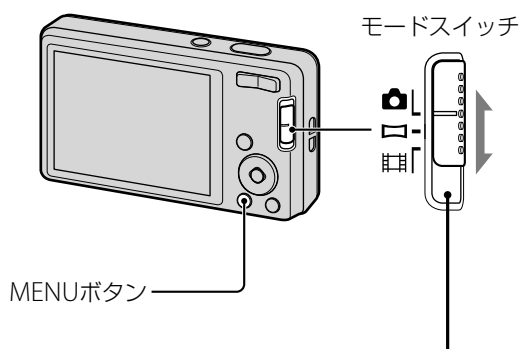
4

10 2	セルフタイマー
C:32:00	自己診断表示
	訪問先
	温度上昇警告
OFF	顔検出
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
	AF測距枠
+	スポット測光照準
+2.0EV	露出補正値
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値
▶	再生
	再生バー
00:00:12	カウンター
	方位
	GPS情報
35° 37′32″N 139° 44′31″E	緯度・経度表示
	音量

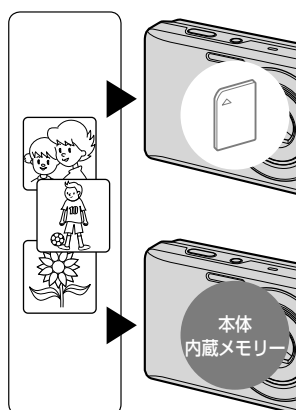
モードダイヤルの使いかた（DSC-W380のみ）

モードダイヤルを操作したい機能に合わせて設定します。

（動画撮影）	動画を撮影できる（34ページ）。
（スイングパノラマ）	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる（29ページ）。
P（プログラムオート撮影）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する（28ページ）。メニューで多彩な機能を設定できる。
i（おまかせオート撮影）	自動設定で撮影できる（23ページ）。
EASY（かんたん撮影）	見やすい表示で簡単に撮影/再生する（25ページ）。
SCN（シーンセレクション）	あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できる（31ページ）。

モードスイッチの使いかた（DSC-W350/W350Dのみ）

撮影したいモードにあわせて撮影モードを設定します。

（静止画撮影）	静止画を撮影できる（23、28、31ページ）。 MENU → ［撮影モード］で好みの静止画撮影モードを設定できる。
（スイングパノラマ）	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる（29ページ）。
（動画撮影）	動画を撮影できる（34ページ）。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約45MB）が搭載されています。
本機にメモリーカードが入っていないときに、画像を内蔵メモリーに記録できます。

メモリーカードが挿入されているとき

[撮影画像]：メモリーカードに記録します。

[再生]：メモリーカード内の画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：メモリーカード内のデータに対して行います。

メモリーカードが挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

本機にメモリーカードを入れない状態で、112ページの操作を行う。

メモリーカードにバックアップを取るには

充分な空き容量のあるメモリーカードを準備して、[コピー]（102ページ）の操作を行う。

ご注意

- メモリーカードに記録された画像データは、内蔵メモリーに取り込めません。
- 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンに取り込めますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーに書き出せません。

おまかせオート撮影

自動設定で撮影します。

DSC-W380：

1 **モードダイヤルをi[camera icon]（おまかせオート撮影）にする**
2 **シャッターボタンを押して撮影する**

DSC-W350/W350D：

1 **モードスイッチを[camera icon]（静止画撮影）にする**
2 **MENU → i[camera icon]（撮影モード） → i[camera icon]（おまかせオート撮影） → コントロールボタン中央の●で決定**
3 **シャッターボタンを押して撮影する**

ご注意

- フラッシュは[オート]または[発光禁止]になります。

おまかせシーン認識について

おまかせオート撮影では、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マークとガイド

[icon]（夜景）、[icon]（夜景＆人物）、[icon]（三脚夜景）、[icon]（逆光）、[icon]（逆光＆人物）、[icon]（風景）、[icon]（マクロ）、[icon]（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークとガイドが表示されます。
詳しくは62ページをご覧ください。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は、レンズ先端からW側約5cm、T側約50cm（DSC-W380）、W側約4cm、T側約60cm（DSC-W350/W350D）です。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えたり、フォーカス設定を変える（59ページ）などしてください。
- 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
  - 被写体が遠くて暗い
  - 被写体と背景のコントラストが弱い
  - ガラス越しの被写体
  - 高速で移動する被写体
  - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  - 点滅する被写体
  - 逆光になっている被写体

かんたん撮影(DSC-W380のみ)

必要最低限の機能を使って静止画を撮影します。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

1 モードダイヤルをEASY(かんたん撮影)にする

2 シャッターボタンを押して撮影する

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。

かんたん撮影時に使用できる機能

画像サイズ： MENU → [画像サイズ] → コントロールボタン中央の● → 好みのモード → 中央の●
[大]または[小]から選ぶ。

セルフタイマー： コントロールボタンの → 好みのモード
[10秒]または[切]から選ぶ。

フラッシュ： コントロールボタンの → 好みのモード
[オート]または[発光禁止]から選ぶ。

MENU → [フラッシュ] → コントロールボタン中央の● → 好みのモード → 中央の●
[オート]または[切]から選ぶ。

スマイルシャッター： コントロールボタンの☺

おまかせシーン認識について

かんたん撮影では、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マーク

(夜景)、(夜景&人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光&人物)、(風景)、(マクロ)、(人物)を認識し、認識した場合は画面に各マークが表示されます。
詳しくは62ページをご覧ください。

次のページにつづく↓

かんたん再生で見る

モードダイヤルを**EASY**（かんたん撮影）にしたままで▶（再生）ボタンを押すと、再生画面の文字も大きく見やすくなります。また、使える機能は削除だけになります。

🗑（削除）ボタン： 見ている画像だけを削除できます。
[実行]を選び、中央の●を押す。

MENUボタン： [1枚削除]では見ている画像を削除し、[全て削除]ではメモリーカードのときは日付内すべての画像、内蔵メモリーのときは内蔵メモリー内すべての画像を削除します。

- メモリーカードを使用時、[ビューモード]は[日付ビュー]になります。

かんたんモード（DSC-W350/W350Dのみ）

必要最低限の機能を使って静止画を撮影します。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります（かんたん撮影）。

1 モードスイッチを（静止画撮影）にする
2 MENU → EASY（かんたんモード）→［実行］→ コントロールボタン中央の●
3 シャッターボタンを押して撮影する

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 再生モードも［かんたんモード］になります。

かんたんモード時に使用できる撮影機能

画像サイズ： MENU →［画像サイズ］→ コントロールボタン中央の● → 好みのモード → 中央の●
［大］または［小］から選ぶ。

セルフタイマー： コントロールボタンの → 好みのモード
［10秒］または［切］から選ぶ。

フラッシュ： コントロールボタンの → 好みのモード
［オート］または［発光禁止］から選ぶ。

スマイルシャッター： コントロールボタンの

かんたんモード終了： MENU →［かんたんモード終了］→［実行］→ 中央の●

おまかせシーン認識について

かんたんモードでは、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識マーク

（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークが表示されます。
詳しくは62ページをご覧ください。

プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。

DSC-W380：

1 モードダイヤルをP（プログラムオート撮影）にする
2 シャッターボタンを押して撮影する

DSC-W350/W350D：

1 モードスイッチを（静止画撮影）にする
2 MENU → i（撮影モード） → P（プログラムオート撮影） → コントロールボタン中央の●で決定
3 シャッターボタンを押して撮影する

スイングパノラマ

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

DSC-W380：

1 モードダイヤルを(スイングパノラマ)にする

DSC-W350/W350D：

1 モードスイッチを(スイングパノラマ)にする

手順1の後に、以下の操作をしてください。

2 撮りたい被写体の端にカメラをあわせ、シャッターボタンを深押しする

撮影されない部分

3 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす

ガイド

ご注意

- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを早く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- パノラマ撮影される画角全体と、AE/AFロックした時の画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。このようなときは、AE/AFロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合はスイングパノラマ撮影に適していません。
  – 動いている被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
  – 太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい被写体
- 以下の場合はスイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  – カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  – ブレ過ぎた場合

次のページにつづく↓

撮影方向、画像サイズを変更する

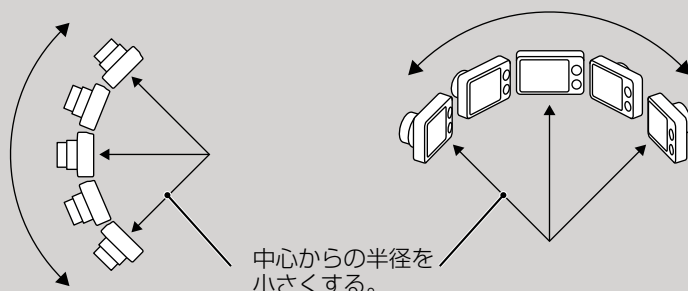
撮影方向： MENU → ［撮影方向］ → ［右］または［左］、［上］、［下］から選ぶ → 中央の●

画像サイズ： MENU → ［画像サイズ］ → ［標準］または［ワイド］から選ぶ → 中央の●

スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

上下方向

左右方向

- シャッターボタンを半押しして、ピントや露出、ホワイトバランスをロックしてから、カメラを動かしてください。
- 風景の変化の多い部分が画面の中央になるように構図を調整して撮影してください。

パノラマ画像をスクロール再生する

パノラマ画像表示中にコントロールボタン中央の●を押すと、スクロール再生できます。全体表示に戻るには、ズームのWボタンを押します。

● 停止　ZOOM W 終了

全体の中で現在表示されている部分

操作ボタン	できること
●	スクロール再生/停止
◀/▶/▲/▼	スクロールの移動
W	全体表示に戻る

- パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます（110ページ）。
- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

DSC-W380：

1 **モードダイヤルをSCN（シーンセレクション）にする**

2 **好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定**

ほかのシーンにしたいときは、MENUで選び直す。

DSC-W350/W350D：

1 **モードスイッチを（静止画撮影）にする**

2 **MENU → i（撮影モード） →SCN（シーンセレクション） → コントロールボタン中央の● → 好みのモード**

（高感度）	暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。
（ソフトスナップ）	人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。
（風景）	遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。
（夜景＆人物）	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使う。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。
（夜景）	暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。
（料理）	マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。
（ペット）	ペットを最適な設定で撮影する。

次のページにつづく↓

(ビーチ)	海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに撮影する。
(スノー)	雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。
(打ち上げ花火)(DSC-W380のみ)	打ち上げ花火をきれいに撮影する。
(水中)(DSC-W350/W380のみ)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影する。

ご注意

- (夜景&人物)、(夜景)、(打ち上げ花火)(DSC-W380のみ)のときは、シャッタースピードが遅くなり画像がブレやすくなるため、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。

「フラッシュ 」、「セルフタイマー」の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。モードによっては使えない機能があります。

	フラッシュ	顔検出/スマイルシャッター	セルフタイマー	連写設定	色合い（ホワイトバランス）	目つぶり軽減
ISO		○	○	－	○*1	－
	○	○*2	○	○	－	○
		－	10 2	○	－	－
	SL	○	○	－	－	－
		－	10 2	－	－	－
		－	10 2	－	○	－
		－	10 2	－	○	－
		○	○	○	－	－
		○	○	○	－	－
		－	10 2	－	－	－
		－	10 2	○	○*3	－

*1 ［色合い（ホワイトバランス）］の［フラッシュ］は選べません。

*2 ［顔検出］の［切］は選べません。

*3 ［水中ホワイトバランス］になります。

動画撮影

音声付きで動画を撮影できます。

DSC-W380：

1 モードダイヤルを目(動画撮影)にする

DSC-W350/W350D：

1 モードスイッチを目(動画撮影)にする

手順1の後に、以下の操作をしてください。

2 シャッターボタンを深押しする

3 終了するときは、もう一度シャッターボタンを深押しする

ズーム

画像を拡大して撮影します。光学5倍（DSC-W380）、または4倍（DSC-W350/W350D）までズームします。

1 W/T（ズーム）ボタンを押す

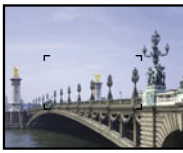
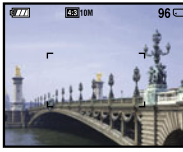
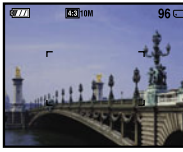
Tボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻る。

- 5倍（DSC-W380）、または4倍（DSC-W350/W350D）以上のズームを行う場合は、83ページをご覧ください。

Tボタン

Wボタン

ご注意

- スイングパノラマ撮影中は、ズームはW側に固定されます。
- 動画記録中にズームを操作すると、レンズの動作音が記録されます。

DISP(画面表示設定)

1 コントロールボタンのDISP(画面表示設定)を押す

2 コントロールボタンで好みのモードを選ぶ

	(明るい+情報表示なし)	画面を標準よりも明るくして、画像のみを表示する。	
	(明るい+画像データ)(再生時のみ)	画面を標準よりも明るくして、情報を表示する。 撮影画像のExifデータも表示する。	
	(明るい)	画面を標準よりも明るくして、情報を表示する。	
✓	(標準)	画面を標準の明るさにして、情報を表示する。	

ご注意

- 明るい屋外では、画面を明るくすると見やすくなります。ただし、バッテリーの消費は早くなります。

フラッシュ

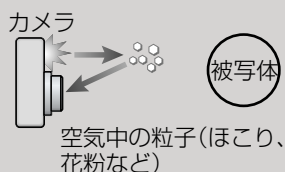
1 コントロールボタンの⚡(フラッシュ)を押す
2 コントロールボタンで好みのモードを選ぶ

✓	⚡AUTO(オート)	暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。
	⚡(強制発光)	フラッシュを必ず発光する。
	⚡SL (スローシンクロ)	フラッシュを必ず発光する。 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
	⊘(発光禁止)	フラッシュを発光しない。

ご注意

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、⚡• が表示されます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。
- おまかせオート撮影、かんたん撮影時は、[オート]と[発光禁止]のみ選べます。
- スイングパノラマ撮影ではフラッシュは[発光禁止]になります。

フラッシュ撮影で白く丸い点が写るときは

カメラの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。

軽減するには：

- 撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影する。
- シーンセレクションでISO(高感度)に設定して撮影する(フラッシュは[発光禁止]になります)。

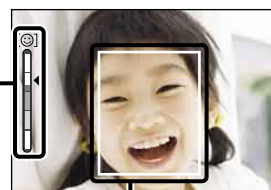
スマイルシャッター

笑顔を検出すると自動で撮影します。

1 コントロールボタンの ☺（スマイル）を押す

2 笑顔を待つ

スマイルレベルがインジケーターの◀を越えると、自動で撮影される。
スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

3 終了するときは、もう一度 ☺（スマイル）を押す

ご注意

- メモリーカード/内蔵メモリーがいっぱいになると自動的に終了します。
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- デジタルズームは使えません。
- スイングパノラマ撮影、動画撮影時は、スマイルシャッターは使えません。

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。
帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。
目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

- 顔検出されているうちの1人が笑えばシャッターが切れます。
- 顔検出で笑顔を検出する被写体を優先的に設定したり、検出する顔の選択ができます。別の顔を検出したいときは、コントロールボタン中央の●で選択顔を変更できます（65ページ）。
- 笑顔が検出されない場合はMENUの[スマイル検出感度]を設定してください。

セルフタイマー

1 コントロールボタンの(セルフタイマー)を押す

2 コントロールボタンで好みのモードを選ぶ

✓	OFF(切)	セルフタイマーを使わない。
	10(10秒)	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、もう一度ボタンを押す。
	2(2秒)	セルフタイマーを2秒後に設定する。
	(自分撮り 1人)	セルフタイマーを「自分撮り」に設定する。設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。カメラを動かさないでください。
	(自分撮り 2人)	

ご注意

- かんたん撮影時は、[10秒]と[切]のみ選べます。
- 動画撮影時は[自分撮り 1人]または[自分撮り 2人]は選べません。
- スイングパノラマ撮影時は、セルフタイマーは使えません。

「自分撮り」で自動撮影

液晶画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、液晶画面から顔が外れるのを防ぐことができます。

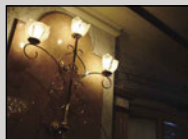
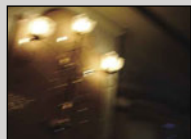
- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

次のページにつづく↓

ブレを起こさないためには

シャッターボタンを押したときに、カメラを持つ手や体が揺れると「手ブレ」が起こります。

(夜景＆人物)や(夜景)など、暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、手ブレが起こりやすくなります。

下記の軽減方法を参考にしてください。

- セルフタイマーを2秒に設定して、シャッターを押したあとにしっかりと構え直す。
- 三脚を使用したり、カメラを平らな場所に置き、固定する。

静止画再生

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 コントロールボタンで画像を選ぶ

他機で撮影した画像を見るときは

本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。本機がメモリーカードの管理ファイルに未登録の画像を認識した場合、「本機で管理されていない画像が見つかりました」という登録画面が表示されます。
管理されていない画像を見るときは、[OK]を選んで画像を登録してください。

- 画像を登録するときは、充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して未登録の画像を登録すると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

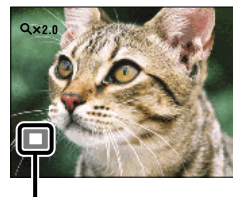
再生ズーム

画像を拡大して再生します。

全体の中で現在表示されている部分

1 **静止画再生中に🔍(再生ズーム)ボタンを押す**
画像中央を中心に、2倍に拡大される。

2 **コントロールボタンで位置を調整する**

3 **W/T(ズーム)ボタンで倍率を調整する**
T側の🔍ボタンでさらに拡大し、W側で戻る。
ズームを中止するには、コントロールボタン中央の●を押す。

画像を拡大し保存するには

MENU → [加工] → [トリミング(リサイズ)]で、拡大した画像を保存できます。

一覧表示

同時に複数の画像を表示させせます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

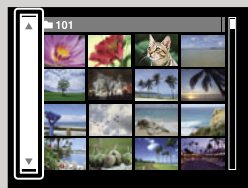
2 ▦(インデックス)ボタンを押し、一覧表示画面にする

もう一度押すと、さらに細かい一覧表示画面になる。[日付ビュー]で再生中に再び押すと、カレンダー表示になる。

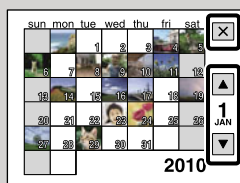
3 1枚再生に戻すには、コントロールボタンで画像を選び、中央の●を押す

ご注意

- 一覧表示中にかんたん再生にすると、1枚再生になります。かんたん再生時は、一覧表示はできません。

希望の日付・フォルダを表示するには

コントロールボタンで左側のバーを選び、▲/▼で希望の日付/フォルダを選びます。

カレンダーで見るには

[ビューモード]が[日付ビュー]のときは、更に細かい一覧表示中に▦(インデックス)ボタンを押すとカレンダーで表示できます。

- コントロールボタンで▲/▼を選び、表示したい月を選びます。
- コントロールボタンで日付を選び、中央の●を押すとその日付の一覧表示になります。
- コントロールボタンで✕を選び、中央の●を押すとカレンダーが消えます。

削除

不要な画像を選んで削除できます。
MENUボタンからの削除もできます（75ページ）。

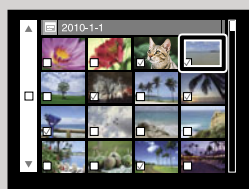
1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 🗑（削除）ボタン → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

日付内全て **フォルダ内全て**	選択している日付・フォルダ内すべての画像をまとめて削除する。 手順2の後に、［実行］ → 中央の●を押す。
画像選択	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、削除の選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●
この画像	1枚再生時に見ている画像を削除する。
終了	削除を中止する。

ご注意

- かんたん再生のときは、見ている画像の削除しかできません。
- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示されます。

一覧表示、1枚再生を切り換えながら選ぶには

一覧表示時にW/T（ズーム）ボタンT側の🔍ボタンを押すと1枚表示に、1枚再生時にW側の⊞（インデックス）ボタンを押すと一覧表示になります。

- プロテクト、DPOF、印刷のときも切り換えられます。

動画再生

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 コントロールボタンで動画を選ぶ

3 中央の●を押す

動画の再生が始まる。

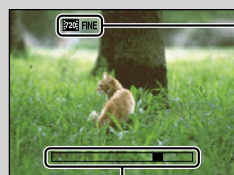
コントロールボタン	再生中にできること
●	再生/一時停止
▶	早送り
◀	早戻し
▼	音量調節画面表示 • ▲/▼で音量調節し、●で決定すると表示が消える。

ご注意

• 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。

動画再生の画面について

コントロールボタンの◀/▶で表示したい画像を選び、中央の●を押します。

再生バーが表示され、動画の再生位置を確認できます。

動画には 720 FINE/720 STD/VGA のアイコンが表示されます。画像サイズ、画質によって表示されるアイコンは異なります。

再生バー

撮影モード（DSC-W350/W350Dのみ）

1 モードスイッチを（静止画撮影）にする

2 MENU → i（撮影モード） → 好みのモード

✓	i（おまかせオート撮影）	自動設定で撮影できる（23ページ）。
	P（プログラムオート撮影）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する（28ページ）。メニューで多彩な機能を設定できる。
	SCN（シーンセレクション）	あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できる（31ページ）。

動画撮影シーン（DSC-W350/W380のみ）

動画撮影時、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

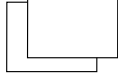
1 MENU → (動画撮影シーン) → 好みのモード

✓	(オート)	カメラが自動調整する。
	(水中)	ハウジング（マリンパックなど）を装着したとき、水中をきれいに撮影する。

撮影方向

スイングパノラマ撮影時、カメラを動かす方向を設定します。

1 MENU → (撮影方向) → 好みの方向

✓	(右)	左から右に向かって撮影する。
	(左)	右から左に向かって撮影する。
	(上)	下から上に向かって撮影する。
	(下)	上から下に向かって撮影する。

画像サイズ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

1 MENU → 4:3 14M（画像サイズ） → 好みのサイズ

静止画撮影

	静止画画像サイズ	用途例	撮影可能枚数	プリント時
✓	4:3 14M (4320×3240)	A3ノビサイズまでの印刷	少ない	精細
	4:3 10M (3648×2736)		↕	↕
	4:3 5M (2592×1944)	L/2L/A4サイズまでの印刷		
	4:3 VGA (640×480)	Eメールに添付	多い	粗い
	16:9 11M (4320×2432)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3までの印刷	少ない ↕	精細 ↕
	16:9 2M (1920×1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	多い	粗い

ご注意

- 16:9で撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

かんたん撮影

✓	大	[14M]で撮影
	小	[5M]で撮影

スイングパノラマ

✓	STD（標準） （横：4912 × 1080） （縦：3424 × 1920）	標準サイズで撮影
	WIDE（ワイド） （横：7152 × 1080） （縦：4912 × 1920）	長いサイズで撮影

動画撮影

画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。
本機の動画はMPEG-4、約30フレーム/秒、プログレッシブ、AAC音声、mp4形式で記録されます。

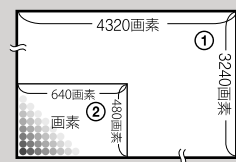
	動画画像サイズ	平均ビットレート	用途の例
✓	720 FINE 1280×720（ファイン）	9Mbps	ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影
	720 STD 1280 × 720（スタンダード）	6Mbps	ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影
	VGA VGA	3Mbps	WEBアップロードに適したサイズで撮影

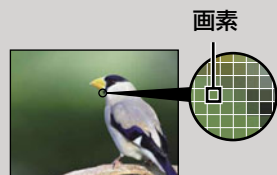
ご注意

- 動画で[VGA]を選択した場合は、望遠よりの画像になります。

「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素（ピクセル）」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指します。本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

① 画像サイズ：14M
4320画素×3240画素＝13996800画素

② 画像サイズ：VGA
640画素×480画素=307200画素

画素数が多い
（細密で、データ量が多い）

画素数が少ない
（粗いが、データ量が少ない）

フラッシュ（DSC-W380のみ）

かんたん撮影モードのときは、MENUからもフラッシュの設定を選べます。

1 モードダイヤルをEASY（かんたん撮影）にする
2 MENU → ［フラッシュ］ → コントロールボタン中央の●で決定
3 好みのモード

✓	オート	暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。
	切	使用しない。

連写設定

1枚撮影、連写から撮影モードを選べます。

1 MENU → ▭（連写設定）→ 好みのモード

✓	**▭（1枚撮影）**	1枚撮影する。
	❐（連写）	シャッターボタンを押し続けている間、最大100枚連写する。 **ご注意** • かんたん撮影、スイングパノラマ撮影、動画撮影時、スマイルシャッター中は連写できません。 • フラッシュは[発光禁止]になります。 • セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。 • 画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。 • バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー/メモリーカードの容量がいっぱいになると、連写は停止します。 • [フォーカス]、[色合い（ホワイトバランス）]、[明るさ（EV補正）]は最初の1枚に設定された値に固定されます。

明るさ（EV補正）

－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を手動調節できます。

1 MENU → 0EV（明るさ（EV補正））→ 好みの数値

ご注意

- かんたん撮影時は、選べません。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

光の量を調整して好みの画像を撮る

露出オーバー＝光が多すぎる
画面が白くなる

明るさ（EV補正）を－側にする

露出が適正

明るさ（EV補正）を＋側にする

露出アンダー＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

ISO

プログラムオート撮影、またはシーンセレクションで（水中）（DSC-W350/W380のみ）を選んでいるとき、明るさの感度を設定します。

1 MENU → ISO AUTO（ISO）→ 好みのモード

✓	ISO AUTO（オート）	カメラが自動で設定する。
	ISO 80/ISO 100/ISO 200/ISO 400/ISO 800/ISO 1600/ISO 3200	暗い場所や動いている被写体を撮影する場合、ISO感度を上げる（数値を大きくする）と、ブレを軽減できる。

ご注意

- 連写時、DROが［プラス］時は［ISO AUTO］、［ISO 80］ ～ ［ISO 800］までしか選べません。

ISO感度（推奨露光指数）の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。

ISO感度が高い

シャッタースピードを速くしてブレを軽減し、露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。

ただし、画像にノイズが増えます。

ISO感度が低い

ノイズの少ない画像を撮影することができます。

ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

ブレを起こさないためには

カメラを固定していても、シャッターボタンを押したときに被写体が動いてしまい、ブレが起こります。本機では、自動的に手ブレは軽減できますが、被写体ブレには効果はありません。暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、被写体ブレが起こりやすくなります。

下記の軽減方法を参考にしてください。

- ISO感度の設定を上げてシャッタースピードを速くし、被写体が動く前にシャッターを切る。
- ISO（高感度）に設定して撮影する。

色合い（ホワイトバランス）

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

1 MENU → WB AUTO（色合い（ホワイトバランス））→ 好みのモード

✓	（オート）	自然な色合いになるよう、ホワイトバランスを自動調節する。
	（太陽光）	晴天の屋外や、夕景、夜景、ネオン、花火などに合わせる。
	（曇天）	曇り空や日陰に合わせる。
	（蛍光灯1） （蛍光灯2） （蛍光灯3）	[蛍光灯1]：白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯2]：昼白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯3]：昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	（電球）	白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	WB（フラッシュ）	フラッシュ光に合わせる。
	（ワンプッシュ）	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。 [ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。 [オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	SET（ワンプッシュ取込）	[ワンプッシュ]で基準になる「白」を取り込む。

ご注意

- おまかせオート撮影、かんたん撮影時は、[色合い（ホワイトバランス）]は選べません。
- 以下の場合は[色合い（ホワイトバランス）]の[フラッシュ]は選べません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – シーンセレクションがISO（高感度）のとき
- ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[色合い（ホワイトバランス）]は[オート]になります。
- フラッシュが[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、ホワイトバランスは[オート]、[フラッシュ]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。

ワンプッシュ取込で基準の「白」を取り込む

1 **被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、レンズを向け、液晶画面いっぱいに表示する**

2 **MENU → WB AUTO（色合い（ホワイトバランス））→［ワンプッシュ取込］→ コントロールボタン中央の●で決定**

画面が一瞬暗くなり、ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、撮影画面に戻る。

ご注意

- 撮影時、表示が点滅をしているときは、ホワイトバランスが未設定、または設定できなかった場合を表わしています。設定できなかった場合は[オート]で撮影してください。
- ワンプッシュ取込中は、本機を動かさないでください。
- フラッシュモードが[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、フラッシュが発光した状態でホワイトバランスが調節されます。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記録されます(DSC-W350/W380のみ)。

光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。
本機はこの変化を適正にするように自動調整しますが、ホワイトバランスを使うと、よりお好みの色合いに調整できます。

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

水中ホワイトバランス（DSC-W350/W380のみ）

シーンセレクションで（水中）、または動画撮影モードで（水中）を選んでいるときの色合いを調整します。

1 MENU → （水中ホワイトバランス） → 好みのモード

✓	**（オート）**	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
	（水中1）	青色の強い水中に合わせる。
	（水中2）	緑色の強い水中に合わせる。
	（ワンプッシュ）	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。[ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。[オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	（ワンプッシュ取込）	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む（57ページ）。

ご注意

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでもうまく合わないことがあります。
- フラッシュが[強制発光]の場合、水中ホワイトバランスは[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。
- [色合い（ホワイトバランス）]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記録されます。

フォーカス

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。
AFとは「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のことです。

1 MENU → (フォーカス) → 好みのモード

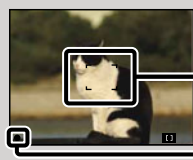
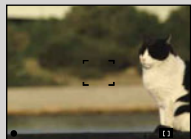
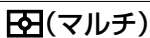
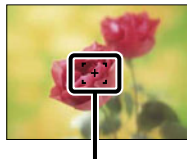
✓	(マルチAF)	画面全体を基準に、自動ピント合わせをする。 静止画撮影で半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。 • 顔検出が働いている場合には、顔を優先したAFになる。 • シーンセレクションが(水中)(DSC-W350/W380のみ)のときは、水中撮影に適したAFになる。半押ししてピントが合うと、大きな枠が緑色で表示される。	AF測距枠
	(中央重点AF)	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。	AF測距枠
	(スポットAF)	非常に小さな被写体に自動ピント合わせをする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。	AF測距枠

ご注意

- [デジタルズーム]や[AFイルミネーター]を使用するときは、AF測距枠設定が無効になり、AF測距枠が点線で表示されます。この場合、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- [マルチAF]以外の設定にすると、顔検出は使えません。
- 以下の場合は[マルチAF]で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – かんたん撮影時
  – 動画撮影時
  – スマイルシャッター中
  – セルフタイマーが[自分撮り１人]または[自分撮り２人]のとき

次のページにつづく↓

画面端の被写体にピントを合わせるには

ピントを合わせたい被写体にピントが合わないときは、以下の方法を使って撮影します。

① 被写体がAF測距枠に入るように構図を構え、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる（AFロック）。

② AE/AFロック表示が点滅 → 点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

- シャッターボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

測光モード

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

1 MENU → ⊡（測光モード） → 好みのモード

✓	⊡（マルチ）	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	⊙（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	●（スポット）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利。 スポット測光照準 被写体をここに合わせる

ご注意

- 動画撮影時は［スポット］は選べません。
- ［マルチ］以外の設定にすると、顔検出は使えません。
- 以下の場合は［マルチ］で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – かんたん撮影時
  – スマイルシャッター中
  – セルフタイマーが［自分撮り１人］または［自分撮り２人］のとき

おまかせシーン認識

おまかせオート撮影を選んでいるとき、本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。
動きを検出すると、動きに応じてISO感度が上がり被写体ブレを軽減します（動き検出）。

逆光が働いた写真例

シーン認識マークとガイド
以下のシーンを認識します。本機が最適なシーンを判別すると、各マークとガイドが表示されます。
（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）

1 MENU → iSCN（おまかせシーン認識） → 好みのモード

✓	iSCN（オート）	シーン認識すると、最適な設定に切り替わり、撮影する。
	iSCN+（アドバンス）	シーン認識すると、最適な設定に切り替わり、（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、自動的にもう1枚撮影される。 • 2枚撮影される場合には、iSCN+アイコンの+部分が緑色になります。 • 2枚撮影されると、撮影直後、画像は2枚並んで表示されます。 • [目つぶり軽減]と表示されると自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動で選ばれます。詳しくは「目つぶり軽減機能とは」をご覧ください。

ご注意

- デジタルズーム撮影時は、おまかせシーン認識は働きません。
- 以下の場合は[オート]で固定されます。
  – 連写時
  – スマイルシャッター中
  – セルフタイマーが[自分撮り１人]または[自分撮り２人]のとき
- フラッシュは、[オート]または[発光禁止]になります。
- （三脚夜景）認識は、カメラを三脚に固定していても、カメラに振動が伝わる環境では認識できない場合があります。
- （三脚夜景）認識されると、スローシャッターになる場合があります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにしてください。
- 状況によっては、これらのシーンはうまく認識されない場合があります。

次のページにつづく↓

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

[アドバンス]では、失敗しがちな（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。
後からお好みの1枚を選ぶことができます。

	1枚目*	2枚目
（夜景）	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（夜景＆人物）	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（三脚夜景）	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
（逆光）	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）
（逆光＆人物）	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）

* フラッシュは[オート]の場合です。

目つぶり軽減機能とは

[アドバンス]に設定して撮影したとき、（人物）認識時はカメラが自動的に2枚撮影*し、目つぶりしていない画像が自動選択されます。目をつぶっている画像しか撮影できなかった場合は、[目つぶりを検出しました]というメッセージが表示されます。

* フラッシュ発光時、またはスローシャッター時を除く

スマイル検出感度

スマイルシャッター機能で笑顔を検出する感度を設定します。

1 MENU → ☻（スマイル検出感度） → 好みのモード

	☻（大笑い）	大笑いで検出する。
✓	☻（普通の笑顔）	普通の笑顔で検出する。
	☻（ほほ笑み）	ほほ笑み程度でも検出する。

ご注意

- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- 以下の場合は[スマイル検出感度]は選べません。
  – かんたん撮影時
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時

顔検出

カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ /明るさ（EV補正）/色合い（ホワイトバランス）/赤目軽減発光の調整をします。

顔検出枠（オレンジ色）
複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。
主要被写体は顔検出枠がオレンジ色になります。
シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。

顔検出枠（白色）

1 MENU → （顔検出） → 好みのモード

	（切）	顔検出機能を使わない。
✓	（オート）	カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。
	（こども優先）	子どもの顔を優先してピント合わせする。
	（おとな優先）	大人の顔を優先してピント合わせする。

ご注意

- 以下の場合は[顔検出]は選べません。
  - かんたん撮影時
  - スイングパノラマ撮影時
  - 動画撮影時
- セルフタイマーが[自分撮り１人]または[自分撮り２人]のときは[切]は選べません。
- フォーカスが[マルチAF]、測光モードが[マルチ]のときのみ、顔検出が選べます。
- デジタルズームのとき、顔検出機能は働きません。
- 最大8人の顔を検出できます。
- 状況によっては大人、子どもが正しく検出できない場合があります。
- スマイルシャッター撮影をするときは、[顔検出]を[切]に設定しても自動的に[オート]になります。

次のページにつづく↓

優先したい顔を選択する

通常は[顔検出]での設定に合わせ、カメラまかせでピントを合わせる顔を選びますが、優先したい顔を自分で選ぶこともできます。

優先顔解除

① 顔検出中に、コントロールボタン中央の●を押す。
左側の顔が優先顔として選択され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。

② 中央の●を押すと、優先顔は右の顔に移動する。
選択したい顔に[ ]のオレンジ枠があたるまで、これを繰り返す。

③ 選択を解除したい場合は、右端の顔までオレンジ枠を移動させ、もう一度中央の●を押す。

- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによって顔が正しく検出できない場合があります。このときは、撮影する環境で選択しなおしてください。
- 顔検出枠を選択してスマイルシャッターを実行すると、その顔だけがスマイル検知の対象になります。
- かんたん撮影時、セルフタイマーの[自分撮り１人]または[自分撮り２人]のときは、顔は選べません。

DRO

プログラムオート撮影を選んでいるとき、撮影シーンを分析し、自動補正を行って画質を向上させます。
DROとは「Dynamic Range Optimizer」の略で、画像の明暗の差を最適になるように自動補正する機能のことです。

1 MENU → DRO STD（DRO） → 好みのモード

	DRO OFF（切）	補正しない。
✓	DRO STD（スタンダード）	撮影画像の明るさ、コントラストを自動補正する。
	DRO Plus（プラス）	撮影画像の明るさ、コントラストを強めに自動補正する。

ご注意

- 撮影状況によっては、補正効果を得ることができない場合があります。
- ［プラス］のとき、ISOの値は、［ISO AUTO］、［ISO 80］ ～ ［ISO 800］までしか選べません。

目つぶり軽減

シーンセレクションで (ソフトスナップ)を選んで撮影したときに、カメラが自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動選択され表示、記録されます。

1 MENU → (目つぶり軽減) → 好みのモード

✓	(オート)	顔検出したとき、目つぶり軽減機能が働き、目つぶりしていない画像を記録する。
	(切)	目つぶり軽減機能を使わない。

ご注意

- 以下のとき、[目つぶり軽減]機能は働きません。
  - フラッシュ発光時
  - 連写時
  - 顔検出が働かないとき
  - スマイルシャッター中
- 状況によっては目つぶり軽減できない場合があります。
- 目つぶり軽減機能を[オート]にしても、目を閉じている画像しか記録されなかった場合には、液晶画面に「目つぶりを検出しました」と表示されます。必要に応じて再度、撮影してください。

かんたんモード（DSC-W350/W350Dのみ）

撮影した静止画をみるとき、文字が大きくなり、表示が見やすくなります（かんたん再生）。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → EASY（かんたんモード） → ［実行］ → コントロールボタン中央の●

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影モードも［かんたんモード］になります。

かんたんモード時に使用できる再生機能

かんたんモード時、使える機能は削除だけになります。

🗑（削除）ボタン： 見ている画像だけを削除できます。
［実行］を選び、中央の●を押す。

MENUボタン： ［1枚］では見ている画像を削除し、［全て］では、メモリーカードのときは日付内すべての画像、内蔵メモリーのときは内蔵メモリー内すべての画像を削除します。
［かんたんモード終了］ → ［実行］でかんたんモードを終了します。

- メモリーカード使用時、［ビューモード］は［日付ビュー］になります。

スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (スライドショー) → 好みのスライドショー → コントロールボタン中央の●で決定

(連続再生)	すべての画像を連続再生する。
(音楽付スライドショー)	効果や音楽とともに静止画を連続再生する。

連続再生

1 コントロールボタンで再生を開始したい画像を選ぶ

2 MENU → (スライドショー) → [連続再生] → 中央の●

コントロールボタン	できること
●	停止
▲	画面表示設定
▼	音量調節画面表示 • ▲/▼で音量調節し、●で決定すると表示が消える。
◀	画戻し
▶	画送り

連続再生中にパノラマ画像を見るときは

パノラマ画像は全体画像を3秒間表示します。
コントロールボタン中央の●を押すとスクロール再生を行います。
スクロール再生中にもう一度中央の●を押すと、パノラマ全体表示に戻ります。

音楽付スライドショー

1 **MENU → (スライドショー)→[音楽付スライドショー]→ コントロールボタン中央の●で決定**

設定画面が表示される。

2 **好みの設定を選ぶ**

3 **[実行] → 中央の●**

4 **音楽付スライドショーを終了するときは、中央の●を押す**

ご注意

- 動画、パノラマ画像は再生できません。
- [再生画像]以外の設定は次回変更するまで保持されます。

再生画像 再生する画像のグループを設定する。		
✓	**全て**	すべての静止画を順番に再生する。
	この日付	ビューモードが[日付ビュー]のとき、選択中の日付内の静止画を再生する。
	フォルダ内	フォルダビューのとき、選択中のフォルダ内の静止画を再生する。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は[フォルダ内]に固定されます。

エフェクト スライドショーの再生テンポや雰囲気を設定する。		
✓	**シンプル**	静止画を一定間隔で送るシンプルなスライドショー。[間隔設定]で再生間隔が変更でき、画像そのものをじっくりと楽しむことができる。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。

次のページにつづく↓

BGM スライドショーとともに再生する音楽を設定する。複数のBGMを選ぶことが可能です。BGMの音量は、コントロールボタンの▼で音量調節画面を表示し、▲/▼で調節する。		
✓	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。
	消音	BGMはつけない。

間隔設定 画面が切り替わる間隔を設定する。[エフェクト]が[シンプル]のとき以外は[オート]に固定される。		
	1秒	[エフェクト]が[シンプル]のときのみ。
✓	**3秒**	
	5秒	
	10秒	
	オート	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。

リピート スライドショーを繰り返し行うかどうかを設定する。		
✓	**入**	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲（BGMファイル）を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして行います。詳しくは、110、111ページをご覧ください。

- 本機には4曲までBGMを記録できます。（出荷時には、4曲分（Music1 ～ 4）すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ換えることができます。）
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長5分までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット]（96ページ）を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。

ビューモード

画像を表示する方法を選びます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (ビューモード) → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	(日付ビュー)	日付ごとに分けて表示する。
	(フォルダビュー(静止画))	静止画を表示する。
	(フォルダビュー(動画))	動画を表示する。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を同じフォルダで再生します。
- 本機はイベントビューに対応していません。

カレンダー画面を表示する

1 MENU → (ビューモード) → [日付ビュー] → コントロールボタン中央の●で決定

2 カレンダー画面が表示されるまで (インデックス)ボタンを押す。

コントロールボタンで▲/▼を選び、表示したい月を選ぶ。日付を選び、中央の●を押すとその日付の一覧表示になる。

他機で撮影した画像を見るときは

本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。本機がメモリーカードの管理ファイルに未登録の画像を認識した場合、「本機で管理されていない画像が見つかりました」という登録画面が表示されます。
管理されていない画像を見るときは、[OK]を選んで画像を登録してください。

- 画像を登録するときは、充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して未登録の画像を登録すると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

加工

撮影した画像を加工し、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (加工) → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

3 各モードの操作方法に従って、実行する

(トリミング(リサイズ))	再生ズームの画像を一部切り取る。 ① T側のボタンで倍率拡大、W側のボタンで倍率縮小 ② コントロールボタンで位置調整 ③ MENU → 画像サイズ選択 → 中央の● ④ [実行] → 中央の● • トリミングすると画質は劣化します。 • 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。
(赤目補正)	フラッシュ撮影時に赤く映った目を補正する。 ① コントロールボタンで[実行]を選択 → 中央の● • 画像によっては補正できない場合があります。
(ピントくっきり補正)	中心とする枠を決め、画像をくっきりと補正する。 ① コントロールボタンで中心位置調整 → MENU ② [実行] → 中央の● • 画像によっては、充分な補正がかからなかったり、画像が劣化する場合があります。

ご注意

• 動画、パノラマ画像は加工できません。

削除

不要な画像を選んで削除できます。🗑（削除）ボタンからの削除もできます（44ページ）。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → 🗑（削除）→ 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

3 ［実行］ →中央の●

（この画像）	1枚再生時に見ている画像を削除する。
（画像選択）	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、削除の選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●
（日付内全て） （フォルダ内全て）	選択している日付・フォルダ内すべての画像をまとめて削除する。

ご注意

- かんたん再生のときは、[1枚削除]と[全て削除]（DSC-W380）、[1枚]と[全て]（DSC-W350/W350D）から選びます。

プロテクト

撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。
登録された画像には⊶マークが表示されます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → ⊶（プロテクト） → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプロテクトする。
（画像選択）	画像を何枚か選んでプロテクトする。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 プロテクトしたい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度選ぶと、プロテクトの選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●

プロテクト指定を解除するには

プロテクト指定の手順と同様に、プロテクトを解除したい画像を選び、コントロールボタン中央の●を押します。⊶マークが消え、プロテクトが解除されます。

DPOF

DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。プリントしたい画像をメモリーカード上に指定することができます。
登録された画像には**DPOF**（プリント予約）マークが表示されます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → DPOF → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

DPOF☑（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプリント予約する。
DPOF☑（画像選択）	画像を何枚か選んでプリント予約する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 プリント予約したい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度選ぶと、プリント予約の選択は解除される。 ② MENU → ［実行］ → 中央の●

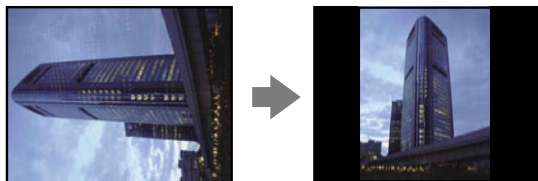
ご注意

- 動画と内蔵メモリー内の画像はプリント予約マークが付けられません。
- プリント予約マークは999枚まで付けられます。

DPOF指定を解除するには

DPOF指定の手順と同様に、DPOFを解除したい画像を選び、コントロールボタン中央の●を押します。**DPOF**マークが消え、DPOFが解除されます。

回転

静止画を左右に回転します。横向きに表示されている画像を、縦表示にしたいときに使います。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → （回転） → コントロールボタン中央の●で決定

3 [/] → ◀/▶で画像を回転

4 [実行] → 中央の●

ご注意

- 動画、プロテクトされている画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

再生フォルダ選択

メモリーカード内に複数のフォルダがあるとき、再生したい画像の入っているフォルダを選びます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （ビューモード）→［フォルダビュー（静止画）］または［フォルダビュー（動画）］→ コントロールボタン中央の●で決定
3 MENU → （再生フォルダ選択）→ 中央の●
4 ◀/▶でフォルダを選ぶ
5［実行］→ 中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

フォルダをまたいで画像を見るには

複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。

：前のフォルダに移動可能
：後ろのフォルダに移動可能
：前/後のフォルダに移動可能

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が発光して、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面に ON が表示されます。

1 撮影モードにする

2 MENU → （設定） → （撮影設定） → [AFイルミネーター] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**オート**	AFイルミネーターを使用する。
	切	使用しない。

ご注意

- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- 以下のときは、AFイルミネーターは使えません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - シーンセレクションが （風景）、（夜景）、（ペット）、（打ち上げ花火）（DSC-W380のみ）に設定されているとき
  - セルフタイマーが[自分撮り１人]または[自分撮り２人]のとき
- AFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平/垂直のライン合わせができます。

1 撮影モードにする

2 MENU → 🧰（設定）→ 📷（撮影設定）→［グリッドライン］→ 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

	入	グリッドラインを表示する。グリッドラインは記録されない。
✓	切	グリッドラインを表示しない。

表示画質モード

液晶画面に表示される撮影画像の画質設定を選べます。

1 撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [表示画質モード] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	標準	標準画質で表示する。
	高画質	高画質できれいに表示する。

ご注意

- [高画質]にするとバッテリーの消費が早くなります。
- スイングパノラマ撮影、動画撮影時は「高画質」になります。
- かんたん撮影時は「標準」になります。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率(5倍)(DSC-W380)、または(4倍)(DSC-W350/W350D)まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

1 撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [デジタルズーム] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**スマート(sQ)**	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限する(スマートズーム)。
	プレシジョン(pQ)	画像サイズの設定にかかわらず、光学ズーム5倍(DSC-W380)、または4倍(DSC-W350/W350D)含む、総合ズーム倍率約10倍(DSC-W380)または8倍(DSC-W350/W350D)までズームをする。光学ズーム倍率を超えると、画像は劣化する(プレシジョンデジタルズーム)。
	切	デジタルズームを使用しない。

ご注意

- 以下の場合はデジタルズームはできません。
  - 動画撮影時
  - スイングパノラマ撮影時
  - スマイルシャッター中
  - セルフタイマーが[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- 画像サイズが[14M]、[16:9(11M)]のときは、スマートズームはできません。
- デジタルズームのとき、顔検出は働きません。

スマートズーム時の総合ズーム倍率(光学ズーム5倍、または4倍含む)

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

画像サイズ	総合倍率	
	DSC-W380 (5倍)	DSC-W350/W350D (4倍)
10M	約5.9倍	約4.7倍
5M	約8.3倍	約6.7倍
VGA	約33倍	約27倍
16:9(2M)	約11倍	約9倍

縦横判別

縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示します。

1 撮影モードにする

2 MENU → （設定） → （撮影設定） → [縦横判別] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	入	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使用しない。

ご注意

- 縦位置の画像は左右が黒く表示されます。
- 本機の撮影角度によっては、画像の縦横向きを正しく記録できない場合があります。
- シーンセレクションが（水中）（DSC-W350/W380のみ）のときや、動画撮影時は[縦横判別]は使えません。

撮影後に画像を回転する

画像の向きが正しく記録されなかった場合は、再生メニューの[回転]で画像を縦に表示できます。

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 撮影モードにする

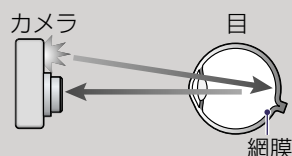
2 MENU → 🧰（設定）→ 📷（撮影設定）→［赤目軽減］→ 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	オート	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	入	常に赤目軽減発光する。
	切	赤目軽減発光しない。

ご注意

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

その他の軽減方法

- シーンセレクションでISO（高感度）を選び、撮影する（フラッシュは[発光禁止]になります）。
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

目つぶり通知

顔検出機能が働いているとき、目を閉じている画像を記録すると、「目つぶりを検出しました」というメッセージを表示します。

1 撮影モードにする

2 MENU → （設定） → （撮影設定） → [目つぶり通知] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**オート**	目つぶり通知を表示する。
	切	表示しない。

操作音

本機を操作したときに鳴る操作音の設定を変更したり、消したりします。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [操作音] → 好みのモード
→ コントロールボタン中央の●で決定

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	大	コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。 音を小さくしたいときは[小]にする。
	小	
	切	音は鳴らない。

機能ガイド

本機を操作したときに表示される機能説明の有無を設定できます。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［機能ガイド］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**入**	機能ガイドを表示する。
	切	表示しない。

デモモード

おまかせシーン認識やスマイルシャッターのデモンストレーションの有無を設定できます。デモンストレーションを見る必要のないときは、[切]に設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [デモモード] →
好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

	デモモード1	おまかせシーン認識のデモンストレーションを行う。
	デモモード2	15秒間操作を行わないと自動でスマイルシャッターのデモンストレーションを行う。
✓	**切**	デモンストレーションを行わない。

ご注意

- スマイルシャッターのデモンストレーション中、シャッターボタンを押すとシャッターは切れますが、画像は記録されません。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→［設定リセット］→［実行］→ コントロールボタン中央の●

ご注意

- 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

コンポーネント出力

本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続する場合に、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定します。「Type3」対応のHD出力アダプターケーブル（別売）をお使いください。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［コンポーネント出力］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	HD（D3）	D3/D4/D5端子があるテレビと接続するときに選ぶ。
	SD	D1/D2端子があるテレビと接続するときに選ぶ。

ご注意

- 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [ビデオ信号出力] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する(欧州、中国など)。

USB接続

本機とパソコン、またはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続] → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**オート**	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する。
	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する。
	PTP/MTP	本機とパソコンを接続した場合は自動再生ウィザードが起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の静止画をパソコンに取り込む。(Windows 7/Vista/XP、Mac OS Xに対応)
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する。

ご注意

- [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。
- [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。
- [PTP/MTP]では、動画の取り込みはできません。動画をパソコンに取り込むときは[オート]または[Mass Storage]に設定してください。

LUN設定

本機をパソコンやAV機器とUSB接続したとき、パソコンなどに表示される記録メディアの表示方法を設定します。

1 MENU → 🧰（設定）→ 🔧（本体設定）→［LUN設定］→ 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**マルチ**	メモリーカードと内蔵メモリー両方の画像を表示する。パソコンと接続するときに選ぶ。
	シングル	メモリーカード挿入時はメモリーカード、挿入されていないときは内蔵メモリーを表示する。パソコン以外の機器と接続したとき、両方の画像が表示されなかった場合に選ぶ。

ご注意

- 「PMB Portable」でネットワークサービスに画像をアップロードする場合は、必ず[LUN設定]を[マルチ]にしてください。

BGMダウンロード

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使ってBGMの入れ換えをするときに使用します。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［BGMダウンロード］ → **コントロールボタン中央の●**

「PCと接続してください」というメッセージが表示される。

2 **本機とパソコンをUSB接続し、「Music Transfer」を起動する。**

3 **画面の操作手順に従って、BGMファイルの入れ換えを行う。**

BGMフォーマット

本機に入っているBGMをすべて削除します。BGMファイルが破損して再生ができない場合などに使います。

1 MENU → 🧰（設定）→ 🔧（本体設定）→［BGMフォーマット］→［実行］→ コントロールボタン中央の●

出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使うと、出荷時の曲を再び本機に戻せます。

① ［BGMダウンロード］を行い、本機とパソコンをUSB接続する。

② 「Music Transfer」を起動して、すべて初期の曲に戻す。

- 「Music Transfer」の使いかたについて詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

パワーセーブ

液晶画面が暗くなるまでの時間と電源が切れるまでの時間を設定します。
バッテリー使用時、電源を入れたまま一定時間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため画面は暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。

1 MENU → （設定） → （本体設定） → ［パワーセーブ］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

	スタミナ	本機を約30秒操作しないと自動で液晶画面が暗くなり、さらに約30秒操作しないと電源が切れる。
✓	**標準**	本機を約1分間操作しないと自動で液晶画面が暗くなり、さらに約1分間操作しないと電源が切れる。
	切	自動で液晶画面が暗くならず、電源が切れない。

フォーマット

メモリーカード、または内蔵メモリーをフォーマット(初期化)します。
メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

1 **MENU → （設定） → (メモリーカードツール)、または(内蔵メモリーツール) → [フォーマット] → [実行] → コントロールボタン中央の●**

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

記録フォルダ作成

メモリーカードの中に新しいフォルダを作成します。
画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。

1 MENU → （設定）→ (メモリーカードツール）→［記録フォルダ作成］→［実行］→ コントロールボタン中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダを作成する場合があります。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚です。フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

フォルダについて

新しいフォルダを作ると、記録先フォルダを変更したり（100ページ）、再生時のフォルダを選択（79ページ）できます。

記録フォルダ変更

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを変更します。

1 MENU → （設定）→ （メモリーカードツール）→［記録フォルダ変更］
2 コントロールボタンの◀/▶でフォルダを選ぶ
3［実行］→ 中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 以下のフォルダは記録フォルダとして選べません。
  – 「100」フォルダ
  – 「□□□MSDCF」と「□□□MNV01」のどちらか一つしかない番号のフォルダ
- 記録した画像は、別のフォルダには移動できません。

記録フォルダ削除

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを削除します。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ削除]
2 コントロールボタンの◀/▶でフォルダを選ぶ
3 [実行] → 中央の●

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 記録フォルダとして設定しているフォルダを[記録フォルダ削除]で削除した場合、フォルダ番号が一番大きいフォルダが次の記録フォルダとして選ばれます。
- フォルダの中が空の場合のみ削除できます。画像や、本機で再生できないファイルが入っている場合は、それらを削除してから行ってください。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーします。

1 充分な空き容量のあるメモリーカードを本機に入れる

2 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー] → [実行] → コントロールボタン中央の●

ご注意

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後にメモリーカードを本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください。
- データをコピーするとメモリーカード内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。

ファイル番号

撮影画像のファイル番号の付けかたを設定します。

1 MENU → （設定） → （メモリーカードツール）または（内蔵メモリーツール） → ［ファイル番号］ → 好みのモード → コントロールボタン中央の●で決定

✓	**連番**	記録フォルダを変更したり、メモリーカードを取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。 （取り換えたメモリーカード内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。）
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。（記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号＋1のファイル番号を付ける。）

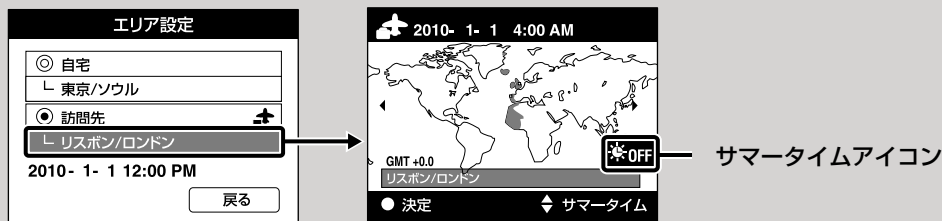
エリア設定

本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。

1 MENU → (設定) → (時計設定) → [エリア設定] →
好みの設定 → コントロールボタン中央の●で決定

✓	自宅	お住まいの地域で使用する。
	訪問先	訪問先の時刻に合わせて使用する。 訪問先のエリアを設定します。

エリアを変更するには

よく訪れる訪問先がある場合、設定しておくと訪問時に簡単に時刻合わせができます。

① [訪問先]のエリア部分を選び、コントロールボタン中央の●を押す。
② コントロールボタンの◀/▶でエリアを選び、▲/▼でサマータイムを選ぶ。

日時設定

時刻を再設定します。

1 MENU → (設定) → (時計設定) → [日時設定] → 好みの設定 → コントロールボタン中央の●で決定

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で数値、好みの設定を選ぶ

3 [実行] → 中央の●

表示形式	日付表示順を選ぶ。
サマータイム	サマータイムの入・切を選ぶ。 日本国内で使用するときは、[切]を選ぶ。
日時	日付、時刻を設定する。

ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM(付属)に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

サマータイムとは

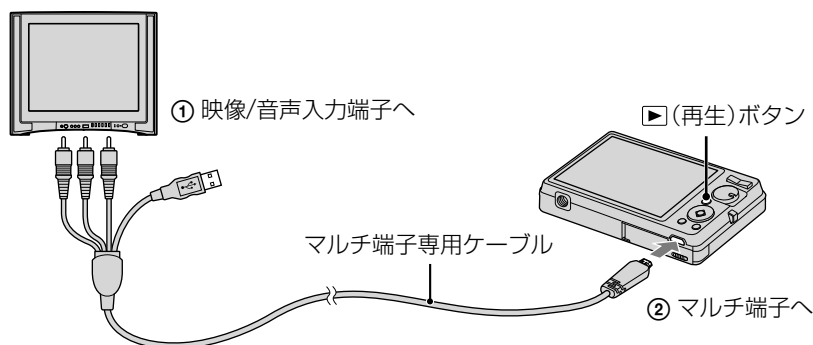
夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを[入]にすると、時計が1時間進みます。

テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見られます。
接続方法は、接続するテレビの種類によって異なります。テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

付属のマルチ端子専用ケーブルでテレビに接続して画像を楽しむ

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル(付属)で接続する

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。コントロールボタンで画像を選ぶ。

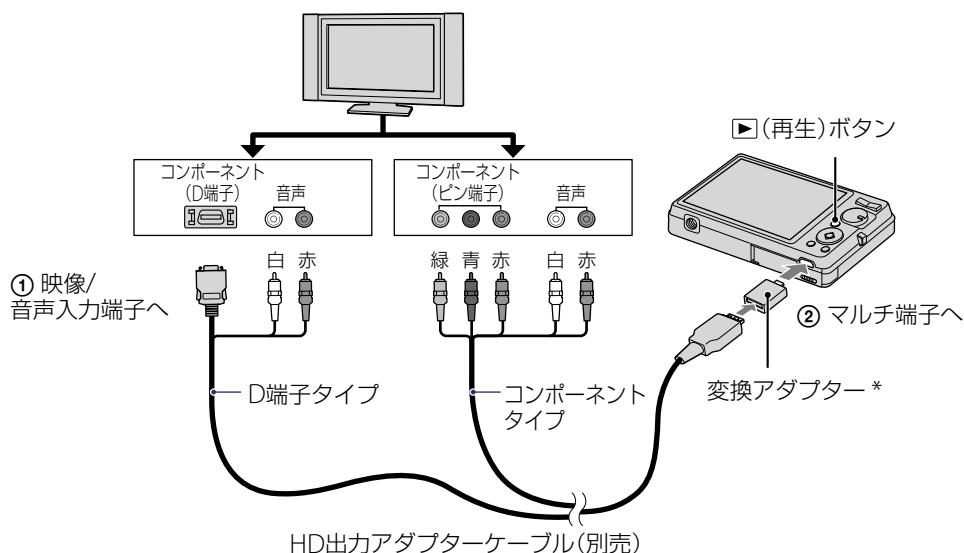
ご注意

- 海外で見るときは、[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(92ページ)。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。
- テレビに出力中は、かんたん再生は無効になります。

ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむ

HD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。「Type3」対応のHD出力アダプターケーブル(別売)をお使いください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 HD出力アダプターケーブル(別売)に変換アダプターを取り付け、本機とハイビジョンテレビを接続する

* 「Type3」対応のHD出力アダプターケーブル(別売)に同梱されています。

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。コントロールボタンで画像を選ぶ。

ご注意

- あらかじめ、[コンポーネント出力]を[HD (D3)]に設定してください(91ページ)。
- 画像サイズを[VGA]にして撮影した画像は高画質再生できません。
- 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。
- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(92ページ)。
- テレビに出力中は、かんたん再生は無効になります。
- お使いのハイビジョンテレビに合ったHD出力アダプターケーブルをお使いください。

次のページにつづく↓

ブラビア プレミアムフォトについて

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビにHD出力アダプターケーブル（別売）で接続してHD（D3）出力すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質で快適にお楽しみいただけます。

- "ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。
- テレビ側の設定も必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、
CD-ROM（付属）には「PMB」などが収録されています。

パソコンの推奨環境（Windows）

付属ソフトウェア「PMB」、「MusicTransfer」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/ Windows 7
その他	**CPU**：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上 （HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/ Intel Core 2 Duo 1.20 GHz以上） **メモリ**：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上） **インストール時に必要なハードディスク容量**：約500 MB **ディスプレイ**：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI） Ver.2.0 以上が必要です。

パソコンの推奨環境（Macintosh）

付属ソフトウェア「MusicTransfer」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	**USB接続**：Mac OS X（v10.3 ～ v10.6） **Music Transfer/PMB Portable**：Mac OS X（v10.4 ～ v10.6）

ご注意

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（hi-speed転送）が行えます。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェアを使う

「PMB（Picture Motion Browser）」、「Music Transfer」をインストールする（Windows）

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ (SONYPMB)の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exeの実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 [インストール]をクリックする

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合には○を◉に変え、[次へ]をクリックする

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める

- インストールするには途中でカメラとパソコンを接続する（112ページ）。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す

7 ソフトウェアを起動する

- 「PMB」を起動するときは、デスクトップ上の (PMB)をクリックする。
  詳しい使い方はPMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または (PMBヘルプ)をクリックして確認する。
- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → (PMB)より実行する。
- お使いのパソコンにすでに「PMB」がインストールされている場合、本機付属のCD-ROMから「PMB」をインストールすると、すべてのアプリケーションが「PMBランチャー」から起動できるようになります。「PMBランチャー」の起動にはデスクトップ上の (PMBランチャー)をダブルクリックします。

ご注意

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- 「PMB」の初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。

「Music Transfer」をインストールする（Macintosh）

1 Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる

2 (SONYPMB)をダブルクリックする

3 [Mac]フォルダの中の[MusicTransfer.pkg]をダブルクリックする

インストールが始まる。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。
- インストールする前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

「PMB」のご紹介

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[取り込み開始]をクリックします。
- パソコンにある画像を、メモリーカードに書き出し、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[活用]メニューの[書き出し] → [かんたん書き出し(PCシンク)]をクリックし、[書き出し開始]をクリックします。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の補正(赤目補正など)、撮影日時の変更ができます。
- 書き込み型CDドライブ、またはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます(インターネット接続環境が必要です)。
- その他詳しくは、(PMBヘルプ)をご覧ください。

「MusicTransfer」のご紹介

出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えたり、BGMファイルの削除や追加ができます。
また、出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すこともできます。

「MusicTransfer」で取り組むことができる曲の種類は、下記のとおりです。

– パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
– 音楽CDの曲
– 工場出荷時に本機に保存されている曲

- 「Music Transfer」を起動する前に、MENU → （設定） → [本体設定] → [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンを接続してください。

その他詳しくは、「MusicTransfer」のヘルプをご覧ください。

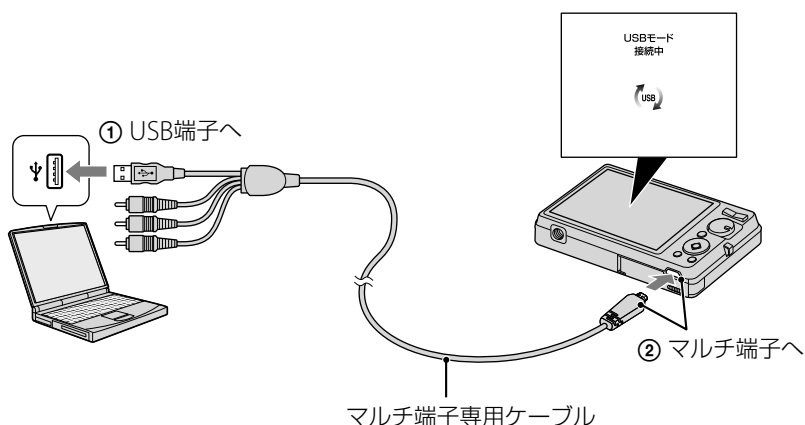
本機とパソコンを接続する

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、またはACアダプター AC-LS5A（別売）とマルチ端子専用USB・AV・DC INケーブル（別売）を接続し、本機とコンセントを接続する

- 「Type3」対応のUSB・AV・DC INケーブル（別売）をお使いください。

2 パソコンの電源を入れ、本機の▶（再生）ボタンを押す

3 本機とパソコンを接続する

- 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

画像を取り込んで見る（Windows）

「PMB」を使うと、簡単に画像を取り込めます。
「PMB」の機能について詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

「PMB」を使わずに画像をパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM]または[MP_ROOT]をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

画像を取り込んで見る（Macintosh）

1 **本機とパソコンを接続したら［デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン］→［DCIM］または［MP_ROOT］→［取り込みたい画像の入ったフォルダ］の順にダブルクリックする**

2 **画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする**

ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

3 **［ハードディスクアイコン］→［画像ファイル］の順にダブルクリックする**

画像が表示される。

パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、1 ～ 3の手順をあらかじめ行ってください。

- マルチ端子専用ケーブルを抜く
- メモリーカードを取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、メモリーカードを本機に入れる
- 本機の電源を切る

1 **タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする**

2 **（USB大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする**

3 **取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする**

ご注意

- Macintosh使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

画像をネットワークサービスにアップロードする

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB Portable」をご利用になると、次のことができます。

- 画像をブログなどのネットワークサービスへ簡単にアップロードできます。
- 外出先などでも、インターネット接続されたパソコンからアップロードできます。
- 頻繁に使用するネットワークサービス（ブログなど）を登録できます。

詳しい使い方については、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

PMB Portableを起動する（Windows）

Windows をお使いの場合は、初回ご利用時言語設定が必要です。下記のとおり設定を行ってください。一度、言語設定を行うと、次回から手順3 ～ 5は不要になります。

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが起動する。
必要のないドライブは[×]で終了してください。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

2 「PMB Portable」をクリックする（Windows XPでは、"PMB Portable" → [OK]）

- 自動再生ウィザード内に[PMB Portable]が表示されない場合は、[コンピュータ] → [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

言語選択画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[OK]をクリックする

地域選択画面が表示される。

4 [エリア]と[国/地域]を選び、[OK]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

5 内容をよく読み、[同意する]をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

PMB Portableを起動する(Macintosh)

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、デスクトップ上に[PMB PORTABLE]が表示される。

必要のないドライブは[×]で終了してください。

2 [PMBPORTABLE]フォルダの中の[PMBP_Mac]をクリックする

地域選択画面が表示される。

3 [エリア]と[国/地域]を選び、[OK]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 内容をよく読み、[同意する]をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

ご注意

- [本体設定]の[LUN設定]を[マルチ]に設定してください。
- 「PMB Portable」使用時は必ず、ネットワーク接続してください。
- 当製品を含め、インターネット経由で画像をアップロードするとき、サービスプロバイダーによっては利用しているパソコンにキャッシュが残る場合があります。
- 「PMB Portable」に不具合が起きたり、誤って削除してしまった場合、PMB PortableインストーラーをWebからダウンロードして修復することができます。

「PMB Portable」についてのご注意

「PMB Portable」はいくつかのウェブサイトのURLを、ソニーが管理するサーバー(以下、ソニーサーバー)からダウンロードすることができます。

「PMB Portable」を使用してこれらを含むウェブサイトが提供する画像アップロードサービス等(以下、サービス)をご利用いただくにあたり、以下をご承諾願います。

- ウェブサイトによっては、サービス利用に際してお客様による登録手続や利用料等の費用負担が必要となる場合があります。ウェブサイトが定める規約に従って、サービスをご利用ください。
- ウェブサイトの運営者の都合等により、サービスの中止や変更等があり得ますが、これらの場合を含め、サービスのご利用に関連してお客様と第三者との間に生じたトラブルや、お客様に発生した損害に関し、ソニーは一切責任を負いません。
- ウェブサイトへはソニーサーバーからリダイレクトされます。サーバーメンテナンスなどの事情により、ウェブサイトへアクセスできない場合があります。
- ソニーサーバーの運用を終了する場合は、ソニーのウェブサイトなどで事前にご案内いたします。
- ソニーサーバーからリダイレクトされる先のURL等を記録し、今後のソニー製品及びサービスの向上に役立たせていただく場合があります。ただし、個人情報は記録いたしません。

静止画をプリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（PictBridge対応プリンター使用）
- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。
- お店でプリント（118ページ）

ご注意

- [16:9]で撮影した静止画は、プリント時に両端が切れる場合があります。
- お使いのプリンターによっては、パノラマ画像は印刷できません。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

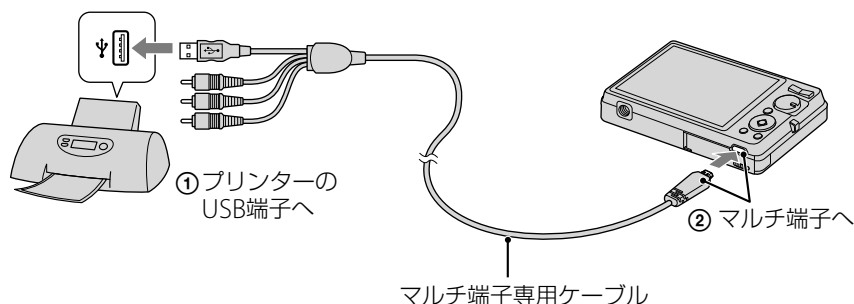
PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge 「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる

2 本機とプリンターを接続する

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

3 本機とプリンターの電源を入れる

接続が完了すると、画面にマークが表示される。

マークが点滅したときは、プリンターからのエラー通知です。接続しているプリンターを確認してください。

4 MENU → (印刷) → 好みのモード → コントロールボタン中央の● で決定

この画像	1枚再生時に見ている画像を印刷する。
画像選択	画像を何枚か選んで印刷する。 手順4の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選んで、中央の●を押す。 印刷したい画像があるだけ繰り返す。 ② MENU → [実行] → 中央の●

5 好みの設定 → [実行] → 中央の●

枚数	指定した画像のプリント枚数を選ぶ。 • インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらない場合があります。
レイアウト	1枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。
サイズ	用紙サイズを選ぶ。
日付	日時を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。 • [年月日]を選ぶと、本機の日時設定で選んだ年月日の表示順で挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

ご注意

- 動画はプリントできません。
- プリンターに接続できなかった場合は、(本体設定)の[USB接続]を[PictBridge]にしてください。
- (PictBridge接続中)マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

お店でプリントする

画像を撮影したメモリーカードをプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、再生メニューでDPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーして（102ページ）、プリントサービス店にお持ちください。
- 対応しているメモリーカードの種類はお店にお問い合わせください。
- メモリーカード用のアダプター（別売）が必要な場合があります。お店にお問い合わせください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

故障かな?と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **119 ～ 128ページの項目をチェックし、本機を点検する。**
画面に「C/E:□□:□□」のような表示が出たときは、129ページをご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする(90ページ)。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトなどで確認する。**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot
サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

サイバーショットの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**
- **指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。**
  http://www.sony.co.jp/di-repair/

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れてください。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては表示にズレが生じることがあります。
- バッテリーの寿命です（136ページ）。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャーを使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲（10℃～ 30℃）で充電してください。
- 詳しくは、137ページをご覧ください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリー、またはメモリーカードの空き容量を確認してください。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  - 不要な画像を削除してください(44ページ)。
  - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - "メモリースティックPROデュオ"(Mark2)、"メモリースティックPRO-HG デュオ"
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)
- デモモードを[切]にしてください(89ページ)。

スマイルシャッター撮影ができない。

- 笑顔が検出されない場合は撮影されません。
- デモモードを[切]にしてください(89ページ)。

手ブレ補正が効かない。

- 暗所では、手ブレ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定速度よりも遅くなると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR(ノイズリダクション)スローシャッター機能といい、撮影に時間がかかります。
- 目つぶり軽減機能が働いています。[目つぶり軽減]の[オート]を[切]にしてください(68ページ)。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。最短撮影距離(レンズ先端からW側約5cm、T側約50cm(DSC-W380)、W側約4cm、T側約60cm(DSC-W350/W350D))より離して撮影してください。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの (夜景)、 (風景)、 (打ち上げ花火)(DSC-W380)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。

ズームできない。

- スイングパノラマ撮影時、光学ズームはできません。
- 画像サイズによってはスマートズームができません(83ページ)。
- 以下のときデジタルズームは使えません。
  - 動画撮影中
  - スマイルシャッターモード時
  - セルフタイマーが[自分撮り１人]または[自分撮り２人]のとき

顔検出機能が選べない。

- フォーカスが[マルチAF]、測光モードが[マルチ]の両方の設定がされているときのみ、顔検出が選べます。

フラッシュ撮影ができない。

- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  - 連写時（53ページ）
  - シーンセレクションの ISO（高感度）、☽（夜景）、✺（打ち上げ花火）（DSC-W380のみ）が選ばれているとき
  - スイングパノラマ撮影中
  - 動画撮影時
- シーンセレクションの ▲（風景）、🍴（料理）、🐱（ペット）、⛱（ビーチ）、⛄（スノー）、🐟（水中）（DSC-W350/W380のみ）が選ばれているときは、⚡（強制発光）にしてください（36ページ）。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした白く丸い点が写っている。

- 空気中の粒子（ほこり、花粉など）がフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影（マクロ撮影）ができない。

- 本機は自動でピントを合わせています。シャッターボタンを半押ししてください。近くの被写体を撮影するときはピント合わせに時間がかかります。
- シーンセレクションの ▲（風景）、☽（夜景）、✺（打ち上げ花火）（DSC-W380のみ）が選ばれているときは、近接撮影できません。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます（110ページ）。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。明るさ（EV補正）を設定してください（54ページ）。

画像の色が正しくない。

- 色合い（ホワイトバランス）を調整してください（56ページ）。

被写体の明るい部分から、白や紫などの線が出たり、画面全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。通常の静止画には記録されませんが、スイングパノラマや動画撮影では線やムラとなって記録されます。（明るい部分とは太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい箇所のことです。）

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- [赤目軽減]を[オート]または[入]にしてください(85ページ)。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影してください。
- 室内を明るくして撮影してください。
- 再生メニューの[加工] → [赤目補正]を行う(74ページ)、または「PMB」で修正する。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

連写できない。

- 内蔵メモリー、またはメモリーカードの容量がいっぱいです。不要な画像を削除してください(44ページ)。
- バッテリーの残量が足りません。充電されたバッテリーを取り付けてください。

同じ画像が数枚撮影される。

- [連写設定]が[連写]になっています(53ページ)。
- [おまかせシーン認識]が[アドバンス]になっています(62ページ)。

画像を見る

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください(113ページ)。
- パソコン内の画像を「PMB」を使わずにメモリーカードにコピーしたためです。データベース登録画面で本機で管理されていない画像を登録するか(41ページ)[フォルダビュー(静止画)]または[フォルダビュー(動画)]で再生してください(73ページ)。

撮影日時が表示されない。

- 情報表示なしの設定になっています。DISP(画面表示設定)を押して情報を表示してください(36ページ)。

画面の左右が黒く表示される。

- [縦横判別]が[入]になっています(84ページ)。

一覧表示ができない。

- かんたん再生になっています。かんたん再生を解除してください。

スライドショー時に音楽(BGM)が流れない。

- 「Music Transfer」を使って本機に音楽を入れてください(110、111ページ)。
- 音量設定とスライドショーの設定を確認してください(70ページ)。
- [連続再生]で再生している。[音楽付スライドショー]を選んで再生してください。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認してください(92ページ)。
- 接続が正しいか確認してください(106ページ)。
- マルチ端子専用ケーブルがUSB端子に接続されている場合は、はずしてください(113ページ)。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

画像を削除する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除してください(75ページ)。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"スロット付きパソコンで"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが"メモリースティック PRO デュオ"に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、バイオのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック PRO デュオ"非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください(112、113ページ)。パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付けてください。またはACアダプター（別売)を使用してください。
- [USB接続]を[オート]または[Mass Storage]にしてください(93ページ)。
- 接続には、マルチ端子専用ケーブル(付属)を使ってください。
- 一度パソコンと本機からマルチ端子専用ケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください(112ページ)。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードで撮影した場合、画像をパソコンへ取り込めないことがあります。本機でフォーマットしたメモリーカードで撮影してください(98ページ)。

USB接続をしたときに「PMB」が自動起動しない。

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続してください。

USB接続をしたときに「PMB Portable」が起動しない。

- [LUN設定]を[マルチ]にしてください。
- [USB接続]を[オート]または[Mass Storage]にしてください。
- パソコンをネットワーク接続してください。

画像を再生できない。

- 「PMB」をお使いの場合は、「PMBヘルプ」をご覧ください(110ページ)。
- パソコンメーカー、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリー、またはメモリーカードから直接再生すると、画像や音が途切れます。PMBで画像を取り込んでファイルを再生してください(110ページ)。

パソコンから書き出した画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど、本機で認識するフォルダに書き出し(73ページ)、[フォルダビュー（静止画)]または[フォルダビュー（動画)]で再生してください。
- 管理ファイルに登録をして、[日付ビュー]で再生してください(73ページ)。
- 本機はイベントビューに対応していません。

メモリーカード

本機に入らない。

- 正しい向きで入れてください。

誤ってフォーマットしてしまった。

- メモリーカード内のデータはすべて消去され、元に戻せません。

メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまう。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機にメモリーカードが入っています。取りはずしてください。

内蔵メモリー内のデータをメモリーカードにコピーできない。

- メモリーカードの空き容量がありません。充分な空き容量のあるメモリーカードにコピーしてください。

メモリーカードやパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- メモリーカードやパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「PMB」を使って印刷すると日付挿入ができます（110ページ）。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認してください。
- [USB接続]を[PictBridge]にしてください（93ページ）。
- マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直してください。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがマルチ端子専用ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- プリンターの電源が入っているか確認してください。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に[終了]を選ぶと、再びプリントできない場合があります。マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直してください。それでも復帰しないときは、マルチ端子専用ケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直してください。
- 動画はプリントできません。
- 他機で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。
- プリンターによっては、パノラマ画像をプリントできない場合や、パノラマ画像が切れてプリントされる場合があります。

プリントが中断される。

- (PictBridge接続中)マークが消える前に、マルチ端子専用ケーブルを抜いていないか確認してください。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応していません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていません。[日付]を[切]にしてプリントしてください(116ページ)。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度マルチ端子専用ケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていません。本機の用紙サイズ設定を変更する(116ページ)か、プリンターの用紙設定を変更してください。
- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

印刷を中止すると、ほかの操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用してください。

レンズが出たまま電源が切れてしまった。

- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付け、再度電源を入れてください。
- 動かなくなったレンズを無理やり押し込まないでください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 日付/時刻を設定し直してください(105ページ)。
- 充電式バックアップ電池が放電しています。充電したバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

日付/時刻がずれている。

- エリア設定で現在地と異なった場所が設定されています。MENU → (設定) → [時計設定] → [エリア設定]で設定し直してください。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。
表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでソニーの相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままです。または、フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください（98ページ）。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセット（90ページ）してから、電源を入れてください。

E:94:□□

- データの書き込み、消去動作不良です。修理が必要です。ソニーの相談窓口にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BN1（付属）以外のバッテリーを使っています。

システムエラー

- 電源を入れ直してください。

しばらく使用できません
カメラの温度が下がるまでお待ちください

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、動画撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直してください。

メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています(3ページ)。
- メモリーカード端子が汚れています。
- メモリーカードが壊れています。

非対応のメモリーカードです

- 本機では使えないメモリーカードが入っています(3ページ)。

このメモリーカードは記録/再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています(3ページ)。

内蔵メモリーフォーマットエラー
メモリーカードフォーマットエラー

- フォーマットし直してください(98ページ)。

メモリーカードがロックされています

- 誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

読み出し専用のメモリーカードです

- このメモリーカードへの画像記録や消去はできません。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていません。
- メモリーカードのフォルダ内に再生可能な画像が記録されていません。

対象画像がありません

- スライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダ、または日付を選択しています。

本機で認識できないファイルがあります

- 本機で再生できないファイルがあるフォルダを削除しようとしています。パソコンで削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダエラー

- 上３桁の番号が同じフォルダがメモリーカード内にあります
(例：123MSDCFと123ABCDE)。別のフォルダを選ぶか、フォルダを作成してください
(99、100ページ)。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

フォルダ内を空にしてください

- ファイルがあるフォルダを削除しようとしています。ファイルをすべて削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダがプロテクトされています

- パソコンなどで読み取り専用にしたフォルダを削除しようとしています。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生しました。
  パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証しません。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択しました。ほかのフォルダを選択してください（100ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除してください（76ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしています。

対象を検出できませんでした

- 画像によっては加工できない場合があります。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用してください。または、三脚などで本機をしっかりと固定してください。

1280×720（ファイン）に、このメモリーカードは対応していません
1280×720（スタンダード）に、このメモリーカードは対応していません

- 動画撮影時は、1GB以上のメモリーカードの使用をおすすめします。

電源を入れ直してください

- レンズの誤作動です。

制限枚数を超えています

- [画像選択]で選べるファイルは100枚までです。
- DPOF（プリント予約）マークが付けられるファイルは999枚までです。選択を解除してください。

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性があります。
  マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っています。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

BGMエラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ換えてください。
- BGMフォーマットをしてから、正常なデータをダウンロードしてください。

BGMフォーマットエラー

- BGMフォーマットをし直してください。

非対応ファイルではこの操作を実行できません

- パソコンで画像を加工したファイルや、他機で撮影した画像は、加工などの編集機能は使えません。

管理ファイル準備中

- パソコンで画像を削除した場合などに日付情報などを修復します。
- メモリーカードのフォーマット後に必要な管理ファイルを作成します。

FULL

- 本機で日付を管理できる枚数をこえています。新しく管理ファイルに画像を登録するには[日付ビュー]で画像を削除してください。

内蔵メモリーの残量がありません
画像を削除しますか？

- 内蔵メモリーの残量がありません。内蔵メモリーに記録する場合は[はい]を選び、画像を削除してください。

ERROR

- 本機の管理ファイルへの記録や、[日付ビュー]での再生ができません。「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカード、または内蔵メモリーを修復してください。

管理ファイルエラー修復できません

- 「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカード、または内蔵メモリーをフォーマットしてください(98ページ)。
  「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込めなかった場合は、「PMB」を使わずにすべての画像をパソコンに取り込んでください(112ページ)。
  再び、本機で画像を見るには、取り込んだ画像を「PMB」で本機に書き出してください。

カメラの温度が高いためしばらく録画できません

- カメラの温度が高くなっています。下がるまで撮影できません。

カメラの温度が上がったため録画を停止しました

- 動画記録中に温度が上昇したため、録画を停止します。温度が下がるまでお待ちください。

[温度警告アイコン]

- 長時間動画を撮影し、カメラの温度が上がっています。動画撮影を終了してください。

“メモリースティック デュオ”について

“メモリースティック デュオ”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック デュオ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ(マジックゲート非対応)	○*1
メモリースティック デュオ(マジックゲート対応)	○*2
マジックゲートメモリースティック デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO デュオ	○*2*3
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*2*3*4

*1 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応していません。
*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。
*3 [1280×720]の動画は“メモリースティックPROデュオ”、“メモリースティックPRO-HGデュオ”以外の“メモリースティック”および、内蔵メモリーには記録できません。
*4 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

ご注意

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”(“M2”)に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- “メモリースティック デュオ”本体および“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

次のページにつづく↓

- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック デュオ”アダプター（別売）使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック マイクロ”（別売）使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリースティック”対応表」をご確認ください。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

バッテリーについて

バッテリーの充電について

- 周囲の温度が10 ℃～ 30 ℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショーを再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

- NP-BN1（付属）は、Nタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、NP-BNタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- 付属のバッテリーチャージャーのチャージランプには以下の2つの点滅パターンがあります。
  速い点滅・・・・・・約0.15秒の点灯と消灯を繰り返す
  遅い点滅・・・・・・約1.5秒の点灯と消灯を繰り返す
- CHARGEランプが速い点滅をしている場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再びCHARGEランプが速く点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合はバッテリーの異常が考えられます。
- CHARGEランプが遅い点滅をしている場合は充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲外にある場合は自動的に充電を一時止め待機状態になります。充電に適切な温度範囲にもどれば充電を再開し、チャージランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10 ℃～ 30 ℃の環境で行うことをおすすめします。

索引

ア行

赤目軽減……85
赤目補正……74
明るさ（EV補正）……54
一覧表示……43
色合い（ホワイトバランス）……56
印刷……116
インストール……110
ウィンドウズ……109
打ち上げ花火……32
エリア設定……104
おまかせオート撮影……23
おまかせシーン認識……62
音楽付スライドショー……71

カ行

回転……78
顔検出……65
各部の名前……16
加工……74
カスタマー登録……5
画素……51
画像サイズ……49
画面表示設定……36
カレンダー……73
かんたん再生……26, 69
かんたん撮影……25
かんたんモード……27, 69
機能ガイド……88
記録フォルダ削除……101
記録フォルダ作成……99
記録フォルダ変更……100
グリッドライン……81
警告表示……129
光学ズーム……35, 83
高感度……31
コピー……102
困ったときは……119
コントロールボタン……16, 17
コンポーネント出力……91

サ行

再生……41
再生ズーム……42
再生フォルダ選択……79
削除……44, 75
撮影……23, 34
撮影方向……48
撮影モード……46
シーンセレクション……31
自己診断表示……129
自分撮り……39
初期化……98
水中……32
水中ホワイトバランス……58
スイングパノラマ……29
ズーム……35
スノー……32
スポットAF……59
スポット測光……61
スマートズーム……83
スマイル検出感度……64
スマイルシャッター……38
スライドショー……70
スローシンクロ……37
接続
　テレビ……106
　パソコン……112
　プリンター……116
設定……14
設定リセット……90
セルフタイマー……39
操作音……87
測光モード……61
ソフトウェア……110

ソフトスナップ......31

タ行
縦横判別......84
中央重点AF......59
中央重点測光......61
デジタルズーム......83
デモモード......89
テレビ......106
電池......136
動画......34
動画撮影シーン......47
時計設定......105
トリミング（リサイズ）......74
撮る
　静止画......23
　動画......34

ナ行
内蔵メモリー......22
日時設定......105

ハ行
パソコン
　画像を取り込む......112, 113
　推奨環境......109
バッテリー......136
バッテリーチャージャー......137
パワーセーブ......97
ビーチ......32
ピクトブリッジ......93, 116
ビデオ信号出力......92
ビューモード......73
表示画質モード......82
ピントくっきり補正......74
ファイル番号......103
風景......31
フォーカス......59
フォーマット（初期化）......98
フォルダ
　削除......101
　作成......99
　選択......79
　変更......100
フラッシュ......37, 52
プリント......77, 116
プリント予約マーク......77, 118
プレシジョンデジタルズーム......83
プログラムオート撮影......28
プロテクト......76
ペット......31

マ行
マッキントッシュ......109
マルチAF......59
マルチ端子......106, 112, 116
マルチパターン測光......61
目つぶり軽減......68
目つぶり通知......86
メニュー......10
メモリーカード......3
"メモリースティック デュオ"......134
モードスイッチ......21
モードダイヤル......20

ヤ行
夜景......31
夜景＆人物......31

ラ行
料理......31
連写設定......53
連続再生......70
露出......54

アルファベット順

AF イルミネーター............................80
AF 測距枠..59
BGM ダウンロード............................95
BGM フォーマット............................96
CD-ROM.. 110
DISP...36
DPOF...77
DRO...67
HD（D3）...91
ISO...55
LUN 設定...94
Macintosh...................................... 109
Mass Storage...................................93
MENU..10
MTP...93
Music Transfer......................110, 111
NTSC...92
OS.. 109
PAL..92
PictBridge.................................93, 116
PMB... 110
PMB Portable................................ 114
PTP..93
SD..91
USB 接続..93
VGA...49
Windows.. 109

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」の記載(英文)が収録されています。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEのもと、次の用途に限りライセンスされています。

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG-4 VIDEOといいます)にエンコードすること。
(ii) MPEG-4 VIDEO (消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。
PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。
http://www.adobe.com/

CD-ROM(付属)に収録されている「Music Transfer」のライセンスに関するお知らせ

MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.